

HP公開用

2022/2023
HKFA

要 覧



特集 委員会の取り組み
キッズ委員会
シニア委員会
技術委員会

公益財団法人北海道サッカー協会

ホームページ公開用/目次

会長挨拶		1
特集	公益財団法人北海道サッカー協会 キッズ委員会取り組み	3
	公益財団法人北海道サッカー協会 シニア委員会取り組み	5
	公益財団法人北海道サッカー協会 技術委員会取り組み	7
公益財団法人北海道サッカー協会 各種委員会の取り組み		9
加盟団体 15地区サッカー協会から		14
加盟団体 各種連盟から		30
データベース	2021年度	
	事業結果報告	42
	北海道出身各カテゴリー日本代表	49
データベース	2022年度	
	事業結果報告	54
	北海道出身各カテゴリー日本代表	60

※個人情報を除く内容を公開しております。



ご挨拶

平素より当協会の活動のご協力とご理解を賜りまことにありがとうございます。

この度、2022年度・2023年度合併号としてHKFA要覧が完成致しましたので、お届け申し上げます。

道内フットボール界は多大な影響を及ぼしたコロナ禍を乗り越え、通常の日常を取り戻しつつあります。困難な状況の中でも、フットボールを諦めなかった選手や指導者のみなさんのフットボール愛、さらに全力で対応された協会関係者の皆様方のご尽力に心から敬意を表する次第です。

二年間の活動の集大成として本要覧を刊行致しましたが、従来の冊子のみ発行ではなく、昨今のニーズ等を鑑みて今回より個人情報を除く一部を当協会ホームページでも閲覧できるよう変更致しました。より多くの方に当協会の活動を閲覧頂きますと幸いです。

通常の活動ができる環境を取り戻し、多くの事業へ足を運びフットボールファミリーの元気な姿を拝見して非常に嬉しく感じておりますが、取り巻く外部環境は以前よりも厳しい状況が続いております。より一層フットボールを発展させるため、そして年齢・性別を問わず楽しんで頂けるために、施策第一弾として公式応援ソング「Heat Up」を公開しております。各会場等で聞かれているかと思いますが、一生懸命、我武者羅に前を向いて進む皆さまの背中を押すような、躍動感あふれる曲となっております。今年は7月にFIFA女子ワールドカップ オーストラリア&ニュージーランド 2023が開催されます。なでしこジャパンの応援とともに、この応援ソングで北海道フットボールを盛り上げていきたいと思っております。

今後も北海道のフットボールファミリーが少しでも元気になるような施策を考え、実行してまいりますので、今後とも一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

HKFA 会長方針と北海道サッカー協会の目標

会長方針

- ◆ 地区・委員会・連盟・事務局をまとめ北海道協会を強固にする
- ◆ やるべきことをスピード感をもって実行する
- ◆ 事業最適化会議のまとめを最大限に活かす

北海道サッカー協会の目標

- ◆ 北海道サッカー・フットサルの競技力向上
- ◆ 女子サッカーの環境整備と発展
- ◆ キッズおよび4種の普及事業の推進
- ◆ シニアの環境整備と登録者の増加
- ◆ 指導者養成講習会の発展と指導者のレベルアップ
- ◆ 審判員の養成と質のレベルアップ
- ◆ 協会運営基盤の強化

公益財団法人北海道サッカー協会

会長 越山賢一

特集

キッズ委員会の取り組み
シニア委員会の取り組み
技術委員会の取り組み

【キッズ委員会】

キッズから小学校へ キッズ理解者とサッカー普及のため



キッズ委員会 委員長 遠藤 祥悦

キッズ委員会では、3本柱を根気よく粘り強く行っている。キッズ巡回指導 U6(幼稚園、保育園などへのサッカー指導) JFA キッズサッカーフェスティバル U6U8U10 キッズリーダー養成講座 U6,U8,U10、ALL の3つを中心に、キッズ理解者とサッカーの普及にと行っています。各地区での成果もあり、徐々にではありますがサッカーの普及に貢献出来ています。また、インストラクターやキッズ委員長のご理解が多くなっていると考えています。ここ最近では、キッズリーダー養成講座に大学生や高校生の受講者も増えて、キッズに対する理解者が多くなった。高校生や大学生は、各地区のフェスティバルやユニクロサッカー教室などにも参加して幼稚園保育園児と交流する場が徐々に増えてきました。これもひとえに指導者のあつてのことだと考えています。フェスティバルに参加した選手は、とても生き生きと園児たちと触れあい、サッカーを通して人間的にも成長している姿を見せていただいています。

JFA キッズサッカーフェスティバル U6U8U10 では、参加者も回を重ねるごとに増えています。ゲーム中心のフェスティバルからグラスルーツ形式のフェスティバルに変わってきて、より一層テクニックや楽しさを感じている選手が多い。楽しさとサッカーの質の部分を追求めながら行うフェス

ティバルは、保護者の皆さんも満足していることでしょう。

キッズリーダー講習会では、受講者の皆様が、身体を動かすことの楽しみを子どもたちに伝えてボール遊びの中からサッカーを知って頂けたら、サッカー人口は増え、北海道のサッカー界は明るくなると思っています。

子どもたちには、まず、身体を動かす(様々な動きを使い遊ぶ)楽しみを伝えます。子どもは遊ぶことが大好きです。その遊び心を大切に、鬼ごっこなどで仲間、コーチと関わり、次第にボールに触れ、足で蹴り、止める、運ぶといった動き作りを実践していきます。そして最後はゲームをするという段階を踏みながら進めています。

子どもたちの中には、サッカーボールに触れたり蹴ったりすることが、初めての園児もたくさんいます。また、ボールを投げるが出来なかつたり苦手な子もたくさんいます。動き自体もまだぎこちない子もいます。遊びの中から、身体の使い方を覚えることは、サッカーをする・しないに関わらず、園児たちの成長のためにとっても大切だと考えています。多くの園児たちにサッカー遊び(サッカー)をしてほしいという気持ちはもちろんあります。でもサッカーを通して、動き作りなどの力になればと思っています。将来他の競技を選択し他のスポーツをする園児もいますが、サッカー(サ

サッカー遊び)で学んだことが役に立っていると気づいてもらえたら嬉しいなと思っています。

幼稚園・保育園では、多くの園に回って体を動かす楽しみやサッカーの入り口に触れる事によって楽しみを感じています。巡回指導の指導者の指導法も工夫されていて、今まで以上に園児たちが運動している姿を見る事が感じられる。今年度は、新規事業で幼稚園・保育園講習会(60分程度)を計画し、よりわかりやすく簡単にサッカーの指導が出来るような方法を伝えていきたいと考えている。

TOYOTA との共同の巡回指導においても、取り組みに理解することが多くなり、今年度も参加トヨタさんがありました。継続して JFA と協力しながら取り組みの理解者を増やして子どもたちに積極的に関わってもらいたいと思っています。



キッズ巡回指導のキャラクターサッチャン、カーくん

【シニア委員会】

シニア種の現状と今後について



シニア委員会 委員長 佐藤 英隆

1.シニア委員会について

新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕在化した2020年4月からシニア委員を2年経験後、2022年4月からシニア委員長に就任し今期で二年目を迎えました。シニア種は北海道シニアサッカー連盟(2020年4月から連盟理事長に就任し、現在シニア委員長と兼務)があるため、他カテゴリーの委員会とは異なり独自性を有しています。

シニア委員会は、委員長1名、副委員長2名、各地区担当委員8名、1種・社会人の委員長、審判委員長、担当副会長の合計15名で構成され、1回/年開催しています。また、委員長及び副委員長をはじめ、ほとんどの委員がシニア連盟の役員も兼務しております。両組織の役割分担を特に定めたものではありませんが、あえて区分すると、シニア委員会が後述する道協会主催大会のレギュレーション素案作成や道協会とシニア連盟のパイプ役になっているのに対し、シニア連盟は事業の企画・運営などを行う実働部隊といったところでしょうか。シニア委員会及びシニア連盟の地域区分は、道央ブロック、道北ブロック、道南ブロック(函館地区、室蘭地区、苫小牧地区)、道東(十勝地区、釧路地区、オホーツク地区)の4ブロックに区分しています。

2.道協会(シニア種)主催大会(シニア連盟と共催)について

シニア委員会及びシニア連盟では、全国大会予選となる真剣勝負の全道大会やサッカーを楽しみ親睦を深める大会など、競技志向に応じて大会の企画・運営を行なっています。

- 全国大会予選となる真剣勝負の大会
 - ・全道シニア0-40/50/60/70サッカー大会
- サッカーを楽しみ親睦を深める大会
 - ・全道シニア8人制オープン大会、
 - ・北海道シニア8ツアオープン大会
 - ・北海道シニアオープン大会
 - ・全道シニアフットサルオープン大会

2021年度と2022年度の事業実施状況については、コロナ禍であっても中止事業をなんとか最小限に留め、感染防止対策を徹底した上で、全国大会に繋がる全道大会などの主要事業は継続して実施する事ができました。

3.シニア種の登録状況

シニア種の登録状況は、JFAがシニア種登録を開始した2000年に11チーム・340名でスタートしたのち、増加の一途をたどり、2023年度には128チーム・2600名程度になる

見込みで今後も増加することが予想されます。

4. 今後の展望・課題等

サッカーが生涯スポーツと言われて久しく、シニア種の活動領域がより一層広がることが予想されるため、シニア部門のサッカー環境を充実させ持続可能な体制とする必要があると考えています。そのため、以下の項目などを当面の課題と考え、各課題に対し、座長、構成員、オブザーバーで構成する少人数のワーキンググループ制の勉強会をシニア連盟内で実施しているところです。

検討方針としては、現状把握(分析)・課題(目標)の設定(今後あるべき姿、どういうふうにしたいか)・問題点(ボトルネック)の抽出(課題を実現(目標を達成)するための問題点の抽出・解決策(解決の方向性)・具体策といった観点から、各々関連付けて検討し、今後のシニア種の活動に活かしていきたいと考えています。

【勉強会における検討課題】

●10年後のシニア種のあり方

シニア種のチーム数及び登録者数の増加や限定されるグラウンド数を踏まえ、今後のシニア種のあり方・方向性について検討。

●シニアカテゴリーの普及

サッカー継続者だけでなく、①未経験者、女性、健康維持が目的の方、②仕事や子育てなので一度サッカーから

離れていたが、セカンドライフとしてサッカーを楽しみたい人、③お子様のサッカーを見て自分もやってみてみたいと思っている方、④サッカーをやってみてほしいいきなりチームには・・・とされている方なども取り込み、競技志向ごとのニーズにあったサッカー環境を造設し、シニアサッカーの普及に繋げる方策を検討。現在までに実施中または検討中の企画を以下に示します。

・シニア練習会・・・昨年から実施している企画で、毎週火曜日の夜にアンフィニ盤溪サッカー場でシニアを対象とした練習会を実施中。練習会の案内はシニア連盟 HP に掲載。

・金田喜稔氏の「大人のサッカー教室」

元日本代表レジェンドの金田喜稔氏が全国展開している企画で、道協会ではシニア連盟と共催で2021年に札幌で2回、十勝で2回、苫小牧で1回実施した実績がある。今後も機会があれば実施を検討。

・出身高校サッカー部 OB 交流大会・・・2年前に JFA が千葉県で試行的に開催した企画で、昨年、他府県(静岡、愛知、鹿児島、広島)でも開催。高校サッカー部 OB は帰属意識や仲意識が高く、他府県でも好評だったことから、北海道でも開催を検討中。

●女子部門との連携

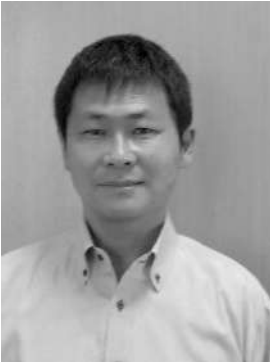
●審判スキルの向上及び資格保持者の増強、

●道外地域との交流



【技術委員会】

「Japan's Way」が目指す未来の実現を 道内のサッカー仲間とともに



技術委員会 委員長 上田 充士

2022年7月にJFAは「Japan's Way」を発表しました。ご覧いただいている方には、ぜひ目を通していただきたいと思えます。(https://www.jfa.jp/japansway/)

これは、JFA2005年宣言において設定した「2050年までにサッカーファミリーを1000万人にし、FIFAワールドカップで優勝する」という夢を実現したときは、日本サッカーはどのような状況になっているのか、その「ありたき姿」から逆算して、現在とのギャップを埋め、そこに至る道筋として示したものです。

技術委員会では、その目標の実現に向けて、「強化」「育成」「指導者養成」「普及」の四位一体の取組を行っています。

「強化」部門の最大の目標は、何といても北海道で生まれ育った選手が、世界の大舞台であるFIFAワールドカップのピッチで活躍する姿の実現と考えています。

過去にこの舞台に選ばれたのは、城彰二(中1夏まで)、熊谷紗希(中3まで)、高瀬愛実(高3まで)、三宅史織(小6まで)の4選手にとどまっております。北海道は、全国の1/20の人口と考えると、毎大会選考されるようなFAでありたいと考えております。そのためには、プロクラブである北海道コンサドーレ札幌との連携を大切にするとともに、選

手のゲーム環境やトレーニング環境の充実に取り組まします。

また、国体男女成年の部については、現在は直接関係しておりませんが、北海道の選手が全国の舞台で好成績をあげられるよう惜しまず協力していきます。

「育成」部門については、U-16国体男女少年の部を集大成の大会としてとらえ、地区、ブロック、北海道地域、ナショナルの各トレセン活動の充実を図っております。U-11年代でトレセンが始まる時に子供たちは、「将来はプロ選手として活躍したい」と大きな夢を持ち参加します。どの年代においても、地区トレセンがベースとしてあり、切磋琢磨され上位のトレセンに選ばれていきます。その選考の際に大切にしたいのは、現在、上手な選手だけではなく、将来性豊かな選手も見逃さないことです。子供の成長には大きな個人差があり、特に、早生まれの選手や体の成長が遅い選手の中にも光る才能を持つ選手がいます。その資質を見逃さず、切磋琢磨する中で様々な刺激を受けられる機会を大人がコーディネートすることが重要だと考えます。

更に中学生年代からは、世界の舞台でも活躍できる選手を育成するため、必要な資質・能力を身につけさせられるようチーム関係者と連携を図りトレセンに取り組まします。現

在、世界で活躍する選手の多くは、17歳で国内のトップリーグでレギュラーとして活躍しているといわれています。そのためには、常に自ら考え、判断したり、自分の長所を伸ばしたりできる選手の育成が大切であると考えます。また、選手の日常環境であるリーグ戦環境を整えることも我々の大切な役割だと認識し取り組んでおります。

四位一体の活動を支えるのは「指導者養成」部門です。子供たちに携わる指導者一人ひとりが、経験や我流に頼るのではなく、常に学び続ける姿勢をもち選手の前には存在することこそが、北海道の未来を変えていく力だと確信しています。学び続ける指導者は、常に選手から信頼され、そして、各地区でもいいゲーム環境を構築できるよう、不断の改善に中心となって取り組んでいることと思います。

北海道FAでは、毎年B級指導者を50人養成できる体制を構築しております。また、各ブロックでも様々な工夫をして、C級やD級の指導者養成コースを開設しております。チームの指導のほかにも、審判、トレセン活動を行い、更

に熱い思いを持って指導者養成に尽力していただいているチューターの皆さんの支えがあり実現しております。

最後に「普及」部門です。10年前と比較すると、道内のチーム数・登録数は7割ほどまでに減りました。現在、北海道内の高校生の数は、1学年4万人ですが、10年後には更に1万人の減少が予想されています。子供だけではなく、1種年代の減少、札幌圏外の地方の減少も大きくなっています。

「Japan's Way」には、これからのサッカーを「あの人たちがやっているサッカーからみんなのサッカーへ」ということばで締めくくられております。北海道でサッカーをやりたいと思う老若男女すべての人にとって、サッカーができる環境を再構築することは喫緊の課題と考えます。すべての世代にリスペクトの輪を広げ、「する」「みる」「関わる」サッカー文化、スポーツ文化の醸成に、技術委員会の枠を超えて、皆さんと力を合わせて具体的な取組を推進していきたいと考えております。

育成年代での育てるべき選手像

**自分の武器（個性：Individuality）を持ち、
様々な状況でチームのために生かすことが出来る選手**

- どこに行っても、いかなる監督、システム、戦術の中においても自身の強み、個性をチームのために発揮できる選手。
- 大人になっても使える能力を身につけている選手。特に個人戦術を大事にし、成長と共にグループ、チーム戦術を学んで欲しい。
- テクニックを大事にし、サッカーの原則を理解している。
- ある特殊な戦術で育てるのではない。
- 自分の責任でリスクチャレンジできる選手。
- クリエイティブ&ハードワーク（タフ）

現代における多様なサッカー環境、プレーモデルを尊重し、その中から育つ多様な個性を持つ選手達の能力を日本サッカーは支持したいと思っております。なぜならばそのような個性的な選手達が、自分らしさを発揮出来るチームでプレーすることによって彼等は幸せを感じるであろうし、また日本サッカーの強みでもある組織力と団結力を見せたときに「多様性と一体感の共存」によって大きな力を発揮するだろうと考えます。今後才能を持った選手の発掘（Talent ID）に関しても日本サッカーとして求める基準をしっかりと示していかなければならないと考えています。

各種委員会の取り組み

第1種委員会／第2種委員会
第3種委員会／第4種委員会
女子委員会／フットサル委員会
審判委員会／医学委員会

【第1種委員会】

1種委員会の現状と取り組みについて



第1種委員会 委員長 高木 真一

第1種委員会は社会人・大学・高専・専門学校・自治体・自衛隊各関係連盟及び関連委員会のご協力の元、2022年度の各種事業を終了することが出来ました。

第1種所属各連盟主催の全道大会は、道内各連盟・協会関係者のご尽力と参加選手、チームスタッフの熱意により、コロナ禍におきましても感染対策を講じながら、どの大会も活気のある有意義な大会となっております。全国大会においては、全国社会人サッカー選手権大会でBTOP サンク栗山(2023年度はBTOP 北海道に改名)が準優勝、総理大臣杯では北海道教育大学岩見沢校サッカー部がベスト8の成績を収めております。

また、第1種内の各種別においても、全国の強豪との対戦を経験すること競技レベルの向上が認められており、2023年度は全国上位の成績を収めることを期待しています。

登録チーム数及び全道大会参加チーム数の減少等、第1種を取り巻く環境は厳しさが続いておりますが、2023年度においても所属各連盟で問題点を共有しながら、サッカーを楽しむ続けることを忘れずに競技力及び大会運営能力の向上に向けて努力していきたいと思っております。

【第2種委員会】

新たなるステージへ



第2種委員会 委員長 勘七 誠

今年、北海道ではプレミアリーグとインターハイが同時に開催されます。北海道で2種年代に携わるものとしてこの上ない喜びであり、全国レベルの試合を間近で感じることができる素晴らしい機会でもあります。このタイミングを北海道サッカーがステップアップするビッグチャンスと捉え、プリンスリーグの下部リーグにあたる北海道 FA リーグ(プリンス2部)立ち上げに動いたり、全国高校選手権の北海道予選決勝をあこがれの舞台でもある札幌ドームで開催する等様々な改革を行っています。『不易流行』の言葉を胸にこの目まぐるしく変化する時代の流れを敏感にキャッチし、失敗を恐れることなく何事にも積極的に挑み続けていきたいと考えております。一方で地方のチームが減少している等、問題は山積みです。一つひとつ真実から目を背けることなく、真摯に対応していく中で選手たちが少しでもサッカーを人生の一部にしてくれるような環境を整備してまいります。2種としてこれからも多くのサッカーファミリーを増やしていけるよう取り組んでまいります。また、北海道サッカー協会の一員として他種別とも協力しながら北海道サッカーの発展に少しでも寄与できるよう努力し続けてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

【第3種委員会】

サッカーをしたいすべての中学生のために



第3種委員会 委員長 大石橋 計幸

部活動を学校単位ではなく地域の力で支える時代へ、と大きく報道されてから1年余。

昨年度、第3種委員、15地区協会第3種委員長、さらには中体連地区専門委員長の皆さまとオンライン会議を重ね、現状把握と課題の洗い出し、その課題へのアプローチの方法を整理いたしました。皆さまと、サッカーをしたいすべての中学生に何としてもその環境を、という熱い思いを共有できましたこと、大変心強く感じております。

地域移行の前段階として、合同チーム編成条件の緩和や拠点校方式の整備が進んでおりますが、今年度数チームの「地域クラブ」が誕生していますので先行例として学ばせていただきたく存じます。課題は山積ですが、クラブユース連盟加盟クラブ、地域クラブ、中学校サッカー部が共存共栄できる環境を目指してまいります。

【第4種委員会】

アフターコロナの中で今、求められること



第4種委員会 委員長 佐賀 主昌

新型コロナウイルス感染症の扱いが5類感染症扱いに移行されました。行動制限が求められることがなくなり、子どもたちも思い切りサッカーが楽しめる世の中になったことを大変うれしく思います。この3年間、大会運営は、感染症対策との戦いでもありました。しかし、見方を変えるとこの3年間で、これまでの取組が本当に子どもたちや関係者のために良いものであったのかを、見直すことができた時間でもあったと思います。昨今、社会では、「持続可能」「働き方改革」という言葉が繰り返し使われています。時代に合わせてサッカー界においても、この言葉を意識していくことは大切だと考えます。例えば、一部の方々に負担をかけるのではなく、負担は関係者全てが分担をすること(働き方改革的視点)が、今後の大会の持続につながり、子どもたちの活躍の場を保証し続けることになるのではないのでしょうか。合わせて、この3年間で生まれた関係者のみなさんの知恵と工夫をアフターコロナの中でも反映させながら、子どもたちが伸び伸びとサッカーを楽しめる環境づくりの推進に向けてのご協力をお願いいたします。

【女子委員会】

北海道の女子サッカー環境の変化



女子委員会 委員長 中川 綾子

2022年度は U-18 女子サッカーリーグプレ大会が実施され、地域のトップリーグである北海道女子サッカーリーグ、JFAU-15 女子サッカーリーグ、U-18 女子サッカーリーグと3つのリーグが揃うことになりました。

また新型コロナウイルス感染症の影響で延期になっていた「道新カップ第1回北海道女子8人制サッカー大会」を2022年度には実施することができました。普及の大会である「北海道女子8人制リーグフェスティバル 北海道レディースエイトリーグ」は参加チームが増加傾向にあります。

女子は選手数こそ少ないですが年代が広いため、多くの方々のご協力をいただきながら各種大会を実施しています。

男女問わずサッカーを楽しみたいと思った人が、プレーできる環境づくりに少しでも貢献できたらと思って取り組んでいます。

【フットサル委員会】

フットサルの普及とサッカーとの融合

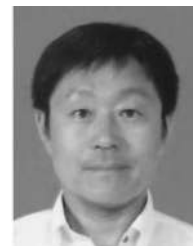


フットサル委員会 委員長 野呂 雅友

委員会の活動内容は、大きく次の4つを行なっています。①JFAに繋がる各種別の全国大会の企画運営、②各地区FAと各地区フットサル連盟と協力して各ブロックリーグや各地区予選大会の企画運営、③フットサル競技の普及活動(選手・指導者)、④各種別との連携活動、になります。今後は、雪が降っても1年を通じて少人数でも小スペースでも楽しめるフットサルを4種から2種の育成年代、女子やシニアにも広く楽しんで参加してもらえるように新しいニーズに合ったフットサル競技の企画運営を行なっていきます。また、同じファミリーとしてサッカーと色々な面で共存共栄していくことが、北海道のサッカーとフットサルのお互いの発展に繋がると考えます。選手も審判も指導者も役員もフットボールを通じてお互いに知り合い、仲間となって、より良い環境で楽しんで頂きたいと考えます。

【審判委員会】

審判員の普及・育成に向けた取組み



審判委員会 委員長 藤井 陽一

昨年、審判委員長に選任いただきました。私は現在も1級審判員として活動させていただいており、諸先輩、地区協会の皆様のおかげと感謝しています。今後は審判員を支える側として尽力していきたいと考えております。

JFA 審判委員会では『全てのサッカーファミリーが「フェアで、安心・安全な試合」を楽しめるように審判員の育成と競技規則とその精神の理解・浸透を行う。』というミッションを掲げ、取組みを進めています。私たちもその方針を基に、地域事情を考えながら、審判員の普及・育成に努めております。近年、審判員数が減少し、特に4級・ユース審判員が顕著に現れています。審判員がやりがいを持って活動していただける環境整備に向けて、取り組んでいきますので、北海道のサッカー、フットサルの発展のため、今後も審判委員会へのご理解とご協力をお願いします。

【医学委員会】

北海道における医学委員会の活動



医学委員会 委員長 神谷 智昭

医学委員会ではこれまで、トレセン活動におけるメディカルサポートと傷害発生予防に向けた啓発活動を行ってきました。JFA 医学委員会と連携しつつ、北海道から国内外に発信する調査・研究を実施しています。その実績が認められ、JFA の代表活動に北海道内のメディカルスタッフが帯同するようになりました。

一方で選手・指導者・審判・観客の命を守ることも我々の重要な任務です。北海道でもJFA スポーツ救命ライセンス講習会を開催し、安心・安全なサッカー環境作りを心がけています。本講習会はメディカルスタッフだけではなく、サッカーに関わる全ての人に受講してもらいたい内容となっています。今後も継続開催しますので、ぜひご参加をお願いします。

その他もアンチドーピング活動、栄養指導など、多くの専門家が医学委員会で活躍しています。引き続き世界基準を意識して、活動を行っていききたいと考えています。

15地区サッカー協会

(一社)札幌地区／函館地区／小樽地区
空知地区／旭川地区／釧路地区
(一社)十勝地区／室蘭地区／苫小牧地区
北空知地区／千歳地区／道北地区
オホーツク地区／根室地区／宗谷地区

【札幌地区】

一般社団法人札幌地区サッカー協会 創立90周年

フットボール100周年に向けたフットボール環境の土台づくり ～Road to 2033～



一般社団法人札幌地区サッカー協会 専務理事 今枝 映人

2021年、2022年の両シーズンにつきましては、皆様の理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。2022シーズンは、新型コロナウイルスへの感染防止対策を継続しながら『安心・安全にフットボールがプレーできる環境づくり』を第一と考え、「感染防止対策」「情報発信」を重点施策として各種別、委員会の事業を推進してきました。2022年度登録(サッカー)の最終状況は、団体登録数466チーム、選手登録数12,955名と、パンデミック前の2019年の登録者数に比べ32チーム、選手登録数では1,781名の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症とな

り、2023シーズンは感染症への対策のみならず、突発的な事故や災害についても対応力を高めるなど、さらに「安心・安全にフットボールを楽しめる環境づくり」を推進して参ります。また、創立90周年となる今シーズンは「札幌地区フットボール100周年に向けた環境の土台づくり～Road to 2033～」とスローガンを掲げ10年後の札幌地区のフットボール環境をより良い姿を具体化する一年として参ります。今年度も引き続き札幌地区のフットボール環境の向上のため、皆様の理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。

2023年度 運営方針【運営の重点】

- 1 アフターコロナに対応したフットボール環境づくりの継続
 - (1) 安心安全な事業の開催(感染症対策を含む緊急時を想定した運営体制づくり)
 - (2) 情報発信(大会や研修会、講習会、イベント等をHPやSNSで情報発信)
- 2 普及拡大事業
 - (1) 重点事業(キッズ大集合・女子フットボールイベント・ゆめカップ・プロチームとの連携事業)
 - (2) 女子チーム・シニア新規チームの創出
 - (3) 年間を通じてフットボールを楽しめる環境づくり(サッカー・フットサル)
- 3 技術力向上事業
 - (1) クラブ・マッチオフィサーの養成研修会の実施(ウェルフェアオフィサー制度の活用)
 - (2) トレセン活動・指導者養成・審判員養成の充実
- 4 協会組織づくり
 - (1) 事務局業務の構造改革(常勤理事の配置、会計業務の効率化)
 - (2) 理事会、事務局、各委員会の活性化(働き方改革、後継者育成、新人登用)
 - (3) 定款の見直し(女性理事・外部理事・定年制の検討)
 - (4) 規定集の編纂(HKFA 規定活用の検討)
 - (5) マーケティング(自立運営の戦略検討)

【函館地区】

地区の現状

函館地区サッカー協会 理事長 吉田 昌一

函館地区サッカー協会は、渡島、檜山までを管轄としています。令和5年1月の登録チーム数は121チーム、登録選手数2,605名となり、昨年より13チーム、270名の減となっています。函館市の人口減少に伴い毎年減少傾向となっています。昨年度までのコロナによる制限も解除され、今年度は活動の復活となる年と捉えています。活動の拠点は函館フットボールパーク、北斗市運動公園フットボ

ール場、七飯町トルナーレ、鹿部町山村広場多目的グラウンドが主となり社会人からシニアまでの利用となります。地区協会の事業活動推進には函館市・北斗市・七飯町・鹿部町・八雲町他、近郊市町村の甚大なご協力のもと、令和5年度の活動を行っていきます。今後とも、地区協会発展のために、サッカーに関わる皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

【小樽地区】

小樽地区サッカー協会の現状と今後の展望



小樽地区サッカー協会 理事長 柴田 靖士

小樽地区の各市町村では人口減が急速に進んでいる。特に子どもたちの人口減が加速しているため、団体種目の競技はチーム編成できる人数が確保できず、居住している地域で好きなスポーツができない小中学生が増加している。そうした中、今年度より小樽市では部活動の「拠点化」を進め、将来的な地域移行を視野に入れた部活動編成が行われている。その結果、サッカー部が通学している学校にない生徒も拠点の学校のサッカー部に所属し活動できるようになった。しかし、その他の町村では、広域にわたる合同チーム編成で何とかサッカーができる環境を繋いでいる場面もある。サッカーを含めた各競技団体が連携し、グラスルーツからシニアまでスポーツに親しめる環境づくりが急務となっている。

今までコロナ禍により制限されていたチームの活動が通常を取り戻しつつある。その中、北海道大会で上位に進むチームや全国大会への切符を得たチームも出ており、今後の更なる活躍が期待されている。

審判委員会では、Web形式と集合型のハイブリッド研修を企画し、審判員や審判指導者が参加しやすい環境を整え研修会を行った。その中で、若手の審判員や、高校生のユース審判員も参加をした研修会を行うことができ実り多いものとなった。ユース審判員については、登録数が200名を超え地区の審判員総数の半数以上となっている。その中から上級を目指すユース審判員も出てきており、レフェリーアカデミーにおいて早期に若手3級審判員を育成してい

る。

技術委員会では、トレセン活動が徐々に通常に戻り定期的な活動を行っている。その結果、ブロックトレセンなどで中心となって活動できる選手も輩出している。また、B級以上の上級ライセンス取得に挑戦する指導者や、D級講習会を受講する4種チーム指導者も増えてきている。今後、全国や北海道で活躍する選手の育成・強化、そして若手指導者の発掘・養成を期待したい。

キッズ委員会では、キッズフェスティバルやフレンドリーグを行い、普段サッカーに触れていない子どもたちも含め多くの参加者が集まる場をつくることができた。また、幼稚園や保育園への巡回指導を5回行い、笑顔溢れる子どもたちからエネルギーをもらい実りある活動を行うことができた。小樽地区出身選手では、菅大輝選手（北海道コンサドーレ札幌）、山谷瑠香選手（アルビレックス新潟レディース）、池高暢希選手（ギラヴァンツ北九州）が現在、国内最高峰の舞台で活躍している。更なる躍進を期待したい。

最後に、幼児から大人までサッカーを楽しめる環境づくりや、現存の施設の有効活用、グラスルーツからのサッカーファミリー拡大、サッカー・フットサルのリーグ戦環境の向上、各種別委員会や審判・技術委員会との協調に力を入れ取り組んでいきたい。また、創立90周年を迎える今年、その後の10年を見据え、協会一丸となって更に前進できるよう取り組んでいきたい。

【空知地区】

空知地区の現状について～コロナ禍と少子化の中で～



空知地区サッカー協会 理事長 磯辺 正道

空知サッカー協会は、昭和 24 年に発足し長い歴史を積み重ねてきた礎があります。これまで継続されて来た諸先輩方の積年や誇りに、あらためて敬意を表し感謝いたします。2022 年度役員改選を迎え、各種委員長をはじめ理事による理事会や活動運営は北海道サッカー協会とのさらなる連携強化を図りつつ、計画した多くの事業が執行されているところであります。

新型コロナウイルス感染症拡大により、医療提供体制も含め社会・経済活動に甚大な影響を及ぼす事態となって、日常生活の自由を奪われサッカー活動も制限を余儀なくされて早くも 3 年の年月が過ぎました。5 月より新型インフルエンザ等感染症(2 類感染症相当)に分類されている新型コロナウイルス感染症を 5 類感染症に引き下げることになり、平時に戻しウィズコロナを具現化する活発なサッカー活動が加速することを願っております。

今後、持続可能な組織を立ち上げ前向きで先進的な取り組みをご紹介します。少子化問題が加速する中、生徒数の激減により選手の減少や指導者の減少が顕著となっています。岩見沢市内中学校全 9 校の部活動を拠点校に集約する「拠点校方式」によるサッカー新チーム「岩見沢 FC」が誕生しました。これらは岩見沢市 9 中学校、岩見沢市

教育委員会、岩見沢教育大学サッカー部、岩見沢市サッカー協会等が連携して実現に至りました。現在 64 名が入団、競技力向上やサッカーを楽しむ活動をベースにサッカーチームとしてのフィロソフィー(哲学)を鑑みた取り組みと言えます。

空知サッカー協会として大変名誉な結果をご報告いたします。空知管内唯一の中学女子サッカーチーム岩見沢 FC ルファヴェニールは、高円宮妃杯 JFA 第 27 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会北海道大会で準優勝、北海道第 2 代表として発足 3 年目にして、初めて全国大会への切符を手に入れました。北海道教育大学岩見沢校サッカー部は、2022 年度「北海道学生リーグ優勝」「総理大臣杯優勝」と道内 2 冠、全国大会では「インカレベスト 16」「総理大臣杯ベスト 8」と歴史に残る成績を残しております。BTOP 北海道は、2022 年度リーグ初優勝、第 58 回全国社会人サッカー選手権大会では北海道勢 24 年ぶりの決勝進出を果たし準優勝に輝いております。

終わりに、サッカーブームの終焉を地区から盛り上げて空前のサッカーブーム再来を夢見ております。

【旭川地区】

旭川地区サッカー協会の現状と課題



旭川地区サッカー協会 理事長 対馬 紀一

2023年4月1日。日本最高峰の高校年代の大会であるプレミアリーグにおいて旭川実業が昨年のEAST準優勝チームである横浜F・マリノスユースを破り、11年前には果たすことができなかった1勝を上げることができたことは、記憶に新しいことと思います。2022年1月には、JFA全日本U-15フットサル選手権大会において、北海道コンサドーレ旭川が初優勝を果たし、旭川地区だけでなく、北海道全体に勇気を与えてくれました。女子では、2022年12月に旭川実業が全日本高等学校女子サッカー選手権大会に初出場を果たすなど新たな光を見せてくれました。多くのチームが全国の舞台で活躍されることに、チーム関係者の皆様にあらためて敬意を表したいと思います。

2021年・2022年は、コロナ禍による様々な制限のある中で活動になりました。2020年に全国大会の出場権を得た旭川シニアFC60の選手の皆さんは、2年間の大会延期に対しても晴れ舞台での活躍を目指し辛抱強く練習に取り組んできましたが、全国大会中止の憂き目に遭ってしまいました。他にも、「練習ができない」「大会中止」「観戦制限がある」などサッカーファミリーにとっては、多くの苦難に耐えねばなりませんでした。

しかし、2023年は、新型コロナウイルス感染症が5類感

染症へと移行し、多くの制限が緩和されました。旭川地区においても、2019年の訪韓以降延期となっていた日韓親善少年サッカー交流事業を再開する見込みが立ち、草の根サッカー交流が継続できることを大変嬉しく思っているところです。現在、旭川実業が参加している高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ 2023。そして、令和5年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会と全国の強豪が集う楽しみな大会が開催されます。過去3年間で失われたものを取り戻し、以前よりさらに発展した協会を目指しながら、サッカーファミリー一丸となって尽力していきたいと思っています。

施設面では、2022年8月に忠和公園多目的広場横に倉庫を設置し、施設の利便性を格段に向上させることができました。10月には、2年間中止を余儀なくされていた天然芝会場の整備ボランティアに、730名の参加を得て再開することができました。それでもまだ、「花咲球技場の改修」「東光スポーツ公園におけるアリーナの建設」などまだまだ解決しなければならないものが多く存在します。これからも、サッカーを楽しくプレーするための環境整備のためにできることを一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。

【釧路地区】

釧路地区協会の現状と今後の展望



釧路地区サッカー協会 理事長 八城 雅彦

2020年4月上旬の地区協会総会において、新会長に三森敏司氏を迎え、3年が経ちます。2022・2023年度、ともに4月上旬に集合形式で定期総会を実施することができました。「ウイズコロナ」から「ポストコロナ」に変遷する中で、大会の運営にも徐々に慣れてきた1年でした。

一種は、社会人サッカー連盟が市内リーグ、各種大会を積極的に運営しています。近年はコロナ禍や不況等の影響もありチーム数がやや減少傾向にあり、ピーク時には50チーム程度であったことを鑑みると、30～40代のシニア世代の発掘が肝要かと思われます。

二種高校世代は、従来の春季フェスティバルを高体連のシード大会へと改め、平成20年度から開始したU-18のリーグ戦もスタッフの努力により試合数が増え、選手諸君の励みとなっています。

三種中学年代は、平成20年度から開始した前期、後期の長期リーグ戦を導入し、実力が拮抗した試合が展開されています。中体連のトーナメント戦、フットサル大会(U-15・U-14・U-13)などの大会と合わせ、軌道に乗っています。

四種少年世代は、短いサッカーシーズンに多くの大会が開

催されていますが、運営に関わる総務部、審判部、技術部の各委員会を設け、スムーズな大会運営、各指導者の協力体制作り、審判技術の向上、指導技術の向上が図られています。また、現在進行中の少子化対策として、キッズ年代の講習会等が本格的にスタートしています。

女子は底辺拡大のため小学女子トレセンの活動を行い、小学生から大人までサッカーを楽しめる環境となっており、JFLのチームで活躍している選手も排出しております。技術関係も管内からJリーガーを排出することを目標に熱心なトレセン活動を展開しています。

2016年度に作成した釧路地区サッカー協会マスタープラン2025の目標は、

1. 釧路にサッカー専用芝グラウンドをつくる。
2. サッカーファミリーを1万人にする。
3. 釧路からプロ選手を育てる。

となっています。地区協会の法人化や専用事務所の開設、指導者の育成・拡充など課題山積ではありますが、一度初心に戻って検討を加える所存でおります。

【十勝地区】

これからに向けて



一般社団法人十勝地区サッカー協会 専務理事 大橋 穂

平素より本協会の活動に際し格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

世の中を騒がせていた新型コロナウイルスも第5類に移行し、3年振りに制限がない中で、大会が開催されることとなり、選手役員はもちろん、声を出して応援ができる観客の皆様も、以前のように普通にサッカーができる環境が戻ってきたことを喜ばれていると思います。

5月上旬から各カテゴリーにおいてリーグ戦や各種大会が始まりましたが、コロナへの特效薬があるわけではないので、大会の運営にあたっては引き続き気を緩めることなく取り組んでいかなければならないと思います。

今年は本協会が設立60周年の年となります。6月末には

高体連全国大会(2種・女子)、9月には全国クラブチームサッカー選手権大会(1種)、そして12月にはフットサル日本代表の国際試合の開催が予定されております。このようにいろいろな大会を誘致できるようになったのは、本協会を設立され、今日まで発展にご尽力された諸先輩方のおかげであり、これから先も協会がますます発展できるように努力を惜しまぬようにしていきたいと思います。

最後になりましたが、関係各位におかれましては、フットボールに関わるすべての方々への感謝を忘れずに、今シーズンもサッカーに取り組んでいただき、楽しさや厳しさを広く地域に発信することで、サッカーファミリーの輪がさらに広がるようみんなで頑張っていきましょう。

【室蘭地区】

室蘭地区の現状と展望



室蘭地区サッカー協会 理事長 安藤 亮一

令和4年度の室蘭地区のサッカーとフットサルの登録数は、69チーム(±0)、選手約1,649人(-144)でした。一昨年からの新型コロナウイルスによる影響はありましたが、昨年に比べると、多くの事業を実施することができました。地区の登録数は減少傾向にありますが、そうした状況にあっても、1種～4種・女子・シニア・FSの全カテゴリーで、全道大会優勝4大会・準優勝6大会・第3位4大会の活躍があり、特に、女子チームが大きな成果を発揮しました。長年にわたって室蘭地区で培われてきた育成と強化の賜であろうと、各委員会・各チームのご努力に敬意を表します。さて、前年度は、一昨年度の「協会創立90周年」から、千葉新会長の下、新たな第一歩を踏み出しました。「活動推進方針」の中に、「持続可能かつ実効的・機能的な組織の見直し」を掲げ、会議体や組織・役員体制の見直しを行い、委員長会議では「各委員会の現状と課題」を毎回取り上げ、交流を図ってきました。その中で、浮き彫りになった現状・課題の多くは、「チーム・選手の減少」「スタッフ(審判員)不足」「試合会場の確保」などでした。また、競技志向の選手

が減少していることや、サッカーに対する魅力の減退という指摘も上げられました。「楽しむサッカー」や「上を目指すサッカー」など、さまざまなサッカー愛好者の多様なニーズに応え、サッカーに魅力が感じられる取り組みと工夫と求められています。今後、協会としての中長期的なビジョンを策定し、サッカーに魅力を感じ、「いつでも、どこでも、だれもができる環境づくり」を進めていきたいと考えています。地区を取り巻く現状としては、今年度限りで入江多目的Gが閉鎖され、4月から祝津に新人工芝グラウンド「リーフラスフットボールパーク」がオープンしました。天然芝グラウンド2面がなくなることは大きな損失ですが、照明付きの人工芝グラウンドという利点を活かして、その活用と利便性の向上を図っていききたいと思います。来年度には全国インターハイ女子サッカー競技が当地区で開催されます。ハイレベルな試合を身近に観戦できる機会となります。大会をきっかけとして、室蘭地区のサッカー界がさらに盛り上がっていくことを期待したいと思っています。

【苫小牧地区】

苫小牧地区サッカー協会の現状と今後の展望



苫小牧地区サッカー協会理事長 岩田 薫

新型コロナウイルス感染症の影響は3年間にわたり事業の中止や延期、さらには感染防止による事業の制限などサッカーに係わる全ての皆さんに厳しい状況が強いられておりました。この3年間、多くの皆様のご支援とご協力をいただき感謝とお礼を申し上げます。

現在は事業についても通常を取り戻しつつ運営しておりますが3年間で得た教訓を大切に、今後とも事業の推進をして参りたいと思います。

苫小牧地区内では、2021年秋に浦河町「うらかわ優駿ビレッジAERU(アエル)」に人工芝競技場が供用開始となりました。さらに、苫小牧では道央道苫小牧中央インターが開通され、北海道内から苫小牧市緑ヶ丘サッカー場への交通アクセスが良くなったことから利用者が増えており

ます。特に春先や初冬にかけて全道からの利用者が激増しております。こうした環境を生かし、全道大会や合宿の誘致など自治体と連携し取り組んで参ります。

全道全国におけるチーム・選手登録数は減少傾向にあり、当地区でも課題となっております。今後歯止めをかけるため、キッズからシニアさらには女子サッカーや障がい者サッカーなどサッカーファミリー拡大のため宣伝・普及活動を強化して参ります。

今後ともスポーツの楽しさを全ての皆さんと共有し、サッカーを通じて心身共に健康であることを目指して取り組んで参ります。

今後とも当協会へのご指導いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



2022 年度フットボールデー



2022 年度全道シニア 70 サッカーオープン大会優勝報告

【北空知地区】

活動の成果と、今後の課題



北空知地区サッカー協会 理事長 鈴木 敏之

今年度も感染対策を講じながら、各カテゴリーが工夫を凝らし、サッカーができる環境をつくろうと活動してきました。今年度は中止となる事業はありませんでした。各カテゴリーの活動と、今後の課題を紹介します。

1種の地区リーグは参加チームが安定せず、同じ対戦カードの試合が多く、選手登録、チーム登録の減少が今後の課題です。フットサルでは、道北ブロックリーグで at second が優勝、el.bien が第3位と健闘し、at second はブロック決勝大会で第3位の好成績を残しました。

2種の道央ブロックリーグでは、滝川西高校が私立の有力校2校に次ぐ第3位と健闘し、また同校は高体連全道や選手権全道大会においても強豪校相手にも善戦しました。8月には3回目となる北空知サッカーフェスティバルを開催し、4日間で延べ39チームが参加。選手権前の良き実戦経験となり、参加校からも好評でした。ユース審判員は、高校生2名が2級を取得しています。女子2級の審判員は、高体連全道大会の決勝戦でアシスタントレフリーを務め、男子2級の審判員は、鹿児島で開催されたJFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会にU-18審判員の北海道代表として参加し、準決勝の主審を務めるなど活躍しました。両

氏の姿に刺激を受けて審判員を目指す後輩も生まれており、良い循環ができつつあります。

3種のブロックカブスリーグ1部はコロナによる学校閉鎖などが影響し、順位に影響はなかったものの数試合消化できずに終えてしまいました。地区のフットサルの大会では拮抗した試合が見られます。2種同様、3種もチーム数が年々減少し、合同チーム含め5チームしかなく(2種は2チーム)、部活動の地域移行の動きも合わせ、今後のチーム数維持が課題として挙がっています。

4種は登録チームが9チームあります。各種大会では欠場になるチームがありました。また、リーグ戦が当初予定していた試合数を消化することができませんでした。8月には本地区主管で第10回熊谷・高瀬杯を実施し交流部門を含め16チームが参加し、大きな事故などもなく笑顔で大会を終えることができました。

最後に、3月には3年ぶりに全道シニアフットサルオープン大会を本地区主催で開催しました。まだまだ油断はできないものの、徐々にこれまでの光景を取り戻していることを実感した一年でした。

【千歳地区】

地区の現状と今後の展望



千歳地区サッカー協会 理事長 北国 浩

当地区は、千歳市・恵庭市・北広島市の3市各サッカー協会
で構成されており、道内の都市では数少ない人口が増
加している地域であります。しかしながら、人口増とは対照
的に選手登録・チーム数は減少を続けており、少子化等の
影響なのか？特に4種年代の選手登録数は、平成24年
度をピークに減少の一途をたどっております。さらに、令和
2年から感染が拡大しました新型コロナウイルスの影響を
受け、令和4年度の選手登録数は 1364名、チーム数は4
4チームとなり、前年度と比較しますと、60名、3チームの
減少となっている。このような状況で中でも、令和2年度か
ら北海道文教大附属高等学校(旧北海道文教大明清高等
学校)が当地区所属となり、男女共にチーム登録され、人
工芝グラウンドも完成したことから、当地区内の活性化が大

いに期待されております。今後は、U15女子チームを立ち
上げ、キッズ年代から社会人まで地区内で活躍出来るよう
選手の育成を積極的に進めていきたいと考えております。
次にこれからの課題としましては、やはり選手登録数の増
加対策が挙げられます。誰もがサッカーの楽しさに触れら
れる環境づくりの構築に向けて、各自治体や関係機関との
連携による施設整備を進めるとともに、危機感を持って、
地区協会と各種年代指導者の力を結集し、キッズ・4 種年
代への巡回指導やフットサルも含めたスクールの開催を通
じてサッカーファミリー拡大を目指します。また、近年続い
ている1種年代での登録チーム数減少の原因を追求し、自
衛隊チームの復活も含め、社会人・大学リーグを活性化さ
せて参りたいと思います。

【道北地区】

道北地区の現状と課題



道北地区サッカー協会 理事長 由井 敏博

道北地区サッカー協会は昭和50年の設立から 48 年目を迎え、道北地域では誰もが「サッカーを楽しむ」ことが出来るようにいっそうの取り組み強化と連携を図りながら頑張っています。

道北地区サッカー協会は設立当初から選手の育成とサッカー人口の拡大を目指し活動してきました。道北地区には 4 種を初め中学、高校にサッカー部があり、社会人チームも存続していましたが、近年急激に進む道北地域の人口減少、高齢化の影響や他地域への進学、就職に伴い地域を離れる若者が多い中でも何とか選手を集めながら社会人チームの維持を行っているところです。

子どもたちの減少に伴い、2種の高校部活存続問題や3種チームの減少、4種でも同学年が少なく試合ができないなど、厳しい状況に直面しています。サッカーが出来る環境を提供できるように地域を越えての合同チームやチームの枠を超えて合同練習による地域連携などに取り組んでいます。

一方では「道北キッズフェスティバル」では小さい時から体を動かす事の楽しさ、ボールを使つてのサッカーの面白さを感じて貰うために様々なアイデアを取り入れると共に保護者の方々にも一緒に参加してもらうことでより楽しさと

サッカーに対する理解を深めるように取り組んでいるところです。又、「道北シニアリーグ」によりサッカーを続けたい人やこれから始める人達の間を確保することで少しでもサッカーファミリー拡大に努めています。

各地域での取り組み活動としては 30 回以上を数える「サフオークランド土別サッカー大会」や名寄雪まつりで行う「雪上サッカー」「サッカー教室」など底辺拡大など多くの人たちにサッカーの楽しさを共有してもらい取り組みを行っています。指導者の育成としてはC級、B級取得推進に伴い多くの指導者が増えている反面、審判員は増えない状況であり、今後の課題として委員長を中心に協会としてもしっかりとバックアップできる体制を構築し、審判員の普及に努めていきます。

中学校部活道地域移行に伴う課題もありますが各教育委員会、学校、地元自治体と協力しながら子供達が安心してサッカーに取り組める環境の整備を図っていききたいと思います。

今後も地域は勿論、全道、全国のサッカーファミリーと共に地域のサッカー発展に全力で取り組んでいきたいと思ひます。



道北地区でのファミリー拡大を図るためにキッズフェス開催(秋)



普及活動として2月にサッカー教室in土別を開催。

【オホーツク地区】

オホーツク地区サッカー協会の現状と展望



オホーツク地区サッカー協会 理事長 中田 孝一

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、コロナ前に実施していた活動ができること誠に嬉しく思います。オホーツク地区では、2016年より「リーグ文化の醸成」、「女子選手数の倍増」、「施設の充実」、「みんなつながっている」を重点課題とし、役員一丸となって取り組んでおります。施設の充実では、2017年に遠軽町に管内初の人工芝のサッカーラグビー場2面が完成、2020年は美幌町に室内人工芝アリーナが完成し一年を通してサッカーフットサルの大会や練習に利用されています。また、2023年には、紋別市で大人用サッカー場の広さを天然芝から

人工芝に張り替える事業が行われサッカーを行う環境が少しずつ整備されてきています。

また、女子選手数倍増には至っていませんが、ナショナルトレセン女子 U14 参加メンバーに選出された選手がでたことや、女子チームが全道大会で上位入賞を果たしたりと確実に取り組みの成果が表れています。

サッカーに限らずどの競技にも共通します少子化による競技人口の減少、当協会のサッカー人口も減少しています。今後はキッズ年代にサッカーの楽しさを伝えたく幼稚園等への巡回指導やキッズ教室を開催しファミリー拡大などの目標達成に向け進めていきたいと考えております。

【根室地区】

根室地区協会の現状と今後の展望



根室地区サッカー協会 理事長 館下 裕典

当地区の現状といたしましては、少子化による選手数の減少並びに登録チーム数の減少が上げられます。これはどの地区においても言えることだと思えますが、その様な中、少しでもその歯止めをすべくファミリー拡大に力をいれているところです。具体的には、キッズ年代への積極的なアプローチ、女子の選手層の拡大、シニア年代の拡大などです。また、各種別・委員会においてもコロナ禍の中、出来ることを最大限に行っているところです。

さて、2022年度のなんといっても嬉しかったことは「全道フットサル選手権大会2023 U-12 の部」において根室北斗が優勝したことです。当地区協会においては「北海道ブロック大会」での優勝はありましたが、全道大会における優勝はどの種別においてもはじめてのことです。選手の皆さんはもとより、指導者スタッフそして日頃より選手

のサポーターである父母やすべての関係者に対し心よりお祝いを申し上げるとともに、感謝いたします。この優勝は当地区協会においても、管内の他チーム・スタッフに大きな刺激と「やればできる」という礎を作ってくれたと思います。今年度は新型コロナウイルスも5類に移行されアフターコロナの時代に入りました。各チームの選手、指導スタッフ、そして審判活動、トレセン活動など、より一層の活躍を期待するところです。また7月には「北海道シニア8サッカーツアーオープン大会」も実施されます。久しぶりの全道大会主管ですが、来ていただける皆さんに精一杯のおもてなしと大会運営に尽力したいと思います。

末筆になりますが、すべてのサッカーファミリーが笑顔で活動できる年であることを祈念するところです。

【宗谷地区】

これからの宗谷地区



宗谷地区サッカー協会 会長 山内 秀樹

2020年から拡がった新型コロナウイルス感染症も、5月8日より5類感染症に引下げられ、ようやく従来のサッカー活動が再開できることとなり、関係者の皆様方も一安心されているのではないのでしょうか。ここ日本最北の宗谷地区でも、本来のサッカー活動が再開されようとしています。例外なく当地区も人口減少の煽りを受け、選手の減少により単独チームを組めない状況も増えています。併せて指導

者や審判員不足だけでなく、協会役員の担い手不足も慢性化しています。全道的にも同じ状況かと思われませんが、発足以来掲げている「日本のてっぺんを熱くする」を合言葉に、サッカーファミリーを一人でも増やしなが、当地区のサッカー熱を全道・全国へ発信していく1年となるよう、一丸となり盛り上げていきたいと思ひます。

各種連盟

北海道社会人サッカー連盟／北海道学生サッカー連盟
北海道自治体職員サッカー連盟／北海道自衛隊サッカー連盟
北海道専門学校サッカー連盟／北海道クラブユースサッカー連盟
（一社）北海道フットサル連盟／北海道シニアサッカー連盟
北海道チャレンジドサッカー連盟／北海道ビーチサッカー連盟

【北海道社会人サッカー連盟】

北海道社会人サッカー連盟の現状と今後の展望



北海道社会人サッカー連盟 理事長 八島 隆志

北海道社会人サッカー連盟は1977年に創立し、2023年度で47年目を迎えます。

会長・副会長・理事長に加え、札幌・千歳・函館・室蘭・苫小牧・旭川・十勝・釧路・オホーツクの各地区社会人連盟、小樽・空知・北空知・宗谷・根室の各地区協会1種委員会または社会人事業委員会より理事を選出し、会長推薦理事を加え総勢28名により理事会を構成し、各地区社会人連盟及び各地区協会と連携して、北海道内社会人関連事業の運営及び北海道サッカーリーグ、札幌、道央・道北、道南、道東の各ブロックリーグ、全道ミドル選手権大会、全国社会人選手権及び全国クラブチーム選手権の北海道予選大会、全道社会人選抜大会、ブロックリーグ決勝大会の各種大会運営を行っております。また、(一財)全国社会人サッカー連盟へ2名の理事を選出することにより、全国での社会人関連事業の運営及び全国社会人選手権大会、全国クラブチーム選手権大会、全国地域サッカーチャンピオンズリーグの大会運営にも関与しております。

登録チーム数は、1977年の札幌地区20チームの登録から年々増加し2005年度には597チームとなりましたが、それ以降は毎年20チーム程度の減少が続いておりました。

さらに、2020年度はコロナ禍の影響により前年度から約80チームの減少があり、その後も回復は出来ず、2022年度の登録は237チームまで減少しています。登録各チームに対して有効な還元を行えるよう常に検討しながら、登録チーム数の減少を食い止めていくことが重要な課題となっております。

全国9地域において、アマチュアサッカーの最高峰である日本フットボールリーグ(JFL)に、唯一北海道のみがチームを輩出していない地域となっております。しかし、北海道にも将来的なJリーグ入りを明確に表明するチームも現れ、JFLへの昇格を懸けた全国地域サッカーチャンピオンズリーグでの多地域代表チームとの対等な戦いや、全国社会人選手権における全国準優勝など、ここ数年、北海道内の競技レベルは格段に向上しています。

2023年度は全国クラブチーム選手権を十勝地区で開催いたします。競技レベルの向上に合わせ、当連盟の運営能力の更なる向上を目指して努力していく所存です。

【北海道学生サッカー連盟】

大学サッカーのこの2年



北海道学生サッカー連盟 会長 岸 豊

北海道学生サッカー連盟のこの2年間は、他団体同様コロナに振り回された2年間でした。特に2021年は1部リーグで5試合、2部リーグでも3試合コロナによる中止試合がでるなど、全日程をこなせない状況で順位を決定せざるを得ず、そのため昇格のみ行い、降格は実施しない変則的なレギュレーションとなりました。2022年度はこのため1部9チーム、2部8チーム、3部11チームによるリーグ戦となりました。1部リーグについていえば降格を行わないことにより、チームとしての力の差が顕著に表れ、得点差の多い試合が増えることとなりました。これもコロナの影響の一部ではありますが次年度以降のコロナ後に向けた課題の一つとなりました。1部リーグの結果について目を向けますと、21年度は優勝札幌大、2位東海大となり両チームがインカレに出場しました。長く2強時代の一つを担った北海道教育大岩見沢校は3位に終わり悔し涙を流す結果となりました。翌22年度は、前年の雪辱を果たした岩教大が優勝し1校のみのインカレ出場となりました。そしてこの年の岩教大はインカレでも初戦、2回戦突破する活躍を見せました。まさに、前年の悔しさをばねにして好成績につなげ

た感がありました。この好結果を是非道内に還元するとともに、次年度以降の一層の活躍を期待したいところです。さて、この2年間には学生サッカー連盟の組織にも大きな変動がありました。20年以上にわたり理事長を務めてきた越山賢一氏がHKFAの会長職に就くため名誉会長となり、同時に2期4年会長を務めた藤山和夫氏も退任することとなりました。会長、副会長、理事長、副理事長の4役員が全て交代するという組織体制の一大変革を迎える事態となりました。コロナ対応と同時に、長年の学生サッカー連盟の伝統と歴史を引き継ぎ、どう今後の活性化につなげていくか、後を引き継いだ者にとっては大変な課題となったところです。幸いにも加盟大学や役員の理解と協力、そしてHKFAを始め各地区協会関係者の皆様のご支援、ご協力により、何とかスムーズな新体制への移行を果たせたのではないかと考えているところであります。今後さらに、大学サッカーが北海道のアマチュアサッカーを牽引するという気概を引き継いで、より一層の大学サッカーの振興に努めていきたいと考えております。

【北海道自治体職員サッカー連盟】

今後の活動展望



北海道自治体職員サッカー連盟 理事長 八木 康年

当連盟は設立から 35 年を迎えましたが、令和 2 年度から 4 年度までの 3 年間、コロナ禍により、全ての事業を中止とする対応をとってきました。

連盟の活動は、国内情勢が安定し、道内においては大きな災害や住民生活に支障が出る事案が多く発生していないことが、活動実施の前提となります。

また、私たち自治体職員は、それぞれの地域で健康的に働き「地元を守る」ことも重要な職務であることから、サッカーやフットサルを通じて、率先して心と体を鍛えることを続けてまいります。

令和 5 年度からは以下の思いを持って連盟活動を再開したいと考えております。

- ①サッカーやフットサルを通じて、それぞれの地域で健康的に働き続けるため、率先して心と体を鍛え、地元を大切にすることに努めます。
- ②地域で活躍する人を育むため、若者が地元で活躍できる場を作ります。
- ③一生涯、スポーツを続けられる環境を未来に残します。
- ④地域と自分の健康のため、サッカーやフットサルを通じて、余暇活動であっても全力で楽しみます。

【北海道自衛隊サッカー連盟】

50 周年メモリアル大会



北海道自衛隊サッカー連盟 理事長 小澤 義則

2022年度(令和4年)全道自衛隊サッカー大会兼第57回全国自衛隊サッカー大会北海道予選が8月6日(土)、千歳市の青葉公園サッカー場で開催されました。前年度はコロナ感染拡大する中、同大会を中止せざるおえない状況に陥り、大会始まって以来の中止となりました。

今年はコロナの状況下ではありましたが、各部隊・各チームの熱意が通じ、無事に大会を迎えることができ、参加チームは3チームと少し寂しい感じがしましたが、昨年できなかった連盟の50周年記念大会として実施することができたのは大変良かったと思います。

幸い天気にも恵まれ、風があり涼しいくらいでしたが、試合は総当たりのリーグ戦で行い、25度の優勝をしている千歳基地サッカー一部が底力を見せ、他チームを寄せ付けず、貫

禄の26回目優勝を成し遂げました。

また、記念大会にあたり、連盟旗のお披露目、プログラムの表紙は連盟旗をプリントし、試合球には50周年記念の刻印をあしらい、試合開始のセレモニーとして中村会長によるキックインで試合をスタートしました。

もう一つ、僭越ながら理事長賞として記念のJFAオリジナルマスクを当初、得点王の選手に計画していましたが、該当者がいないため、各優秀選手にプレゼントしました。

決して大々的にはできませんでしたが節目の50周年メモリアル的な物が多少できたかなと思います。この先、未来永劫に連盟が続いて行くなばうれしい限りですし、また、良き伝統が継承されることを期待したいと思います。

※全国大会については諸般の事情により中止となりました。

【北海道専門学校サッカー連盟】

北海道専門学校サッカー連盟の歩みと取り組み



北海道専門学校サッカー連盟 理事長 三谷 直人

北海道専門学校サッカー連盟は、1991年平成3年4月24日に誕生しました。北海道の専門学校進学率が増加する中、就職・資格取得を目指し、日々学業に取り組んでいる学生たちのリフレッシュの場と、「サッカーを通じ、学生の心身の健全な発達、体力の向上及びスポーツの精神の高揚を図り、併せて専門学校の教育の充実、親睦に寄与すること」を目的としてスタートしました。2022年度に福島県J-VILLAGEで開催された第32回全国専門学校サッカー選手権大会では北海道代表として北海道スポーツ専門学校が出場し、準決勝に進出しました。北海道代表の力を発揮してくれました。コロナ禍における多くの制限の元3年ぶりに開催された大会での学生たちの笑顔は改めてスポーツ・サッカーの意義を感じた次第です。近年では少子化等の影響により専門学校への進学率も低

下し、選手・チーム数の減少が連盟にとって大きな課題となっております。

新年度における連盟の活動は4月の理事総会を皮切りに、春のリーグ戦。そして「第33回北海道専門学校サッカー選手権大会」を中心に運営していきます。そして「第33回全国専門学校サッカー選手権大会」(文部科学大臣杯全国専門学校総合体育大会)は大阪府堺市 J-GREEN での開催が決定しています。北海道代表チームが悲願の全国制覇を狙えるよう学生たちが切磋琢磨できる環境を準備していきたいと思えます。

最後になりますが、多くの学生が専門学校卒業後、社会に出ます。本連盟出身選手がご覧の皆様の近くで働いているかもしれません。是非成長を見守っていただけたらと思えます。

【北海道クラブユースサッカー連盟】

クラブの役割



北海道クラブユースサッカー連盟 理事長 大年 貴之

北海道クラブユースサッカー連盟は、日本サッカー協会、日本クラブユース連盟に帰属するU-18・U-15カテゴリーのクラブを取りまとめている連盟です。

クラブユース連盟が発足し、約30年が経ちました。クラブ文化が無かった時代と比べるとサッカー界においてクラブの定着化が見受けられます。その一方で北海道は人口減少や少子高齢化が進んでおり、これによりサッカーを含むスポーツの参加者や人材の確保が課題となっており、クラブチームや学校のサッカー部の運営が困難になっている地域も出てきています。このような現状から部活動の地域移行やクラブの中体連への移行も見られるようになってきました。

また働き方改革により、これまでの日本のスポーツや部活動を支えてきた学校・教員の部活動への関与も変化しており、部活動自体の活動も制限が出てきています。このような環境の変化の中で、今後クラブの役割が重要な時代になってくると感じております。

クラブは、部活動の地域移行においてスポーツ(サッカー)

指導を提供する役割を担い、ライセンス保有の指導者やコーチが部活動の指導に参加し、適切なトレーニングプログラムや技術指導を行い、生徒たちのスポーツ技術や知識の向上を支援することで北海道全体のサッカーレベルを引き上げていけるのではないかと思います。その為には、地域クラブ、学校、関係者間の協力と連携が必要になり、地域サッカー協会、自治体、教育機関との連携や支援が重要と感じております。また、持続可能な運営や資金確保のための努力も求められ、以上の課題への取り組みによって、部活動の地域移行とクラブの発展が両立されていくのではないかと思います。

北海道クラブユースサッカー連盟では、競技力に特化するのではなく、地域との連携と交流を推進し、サッカーコミュニティとの協力や協力関係の構築を促進することによって、育成年代の(ユースサッカー)発展と成長を支える組織であるようにしたいと思っております。

また、北海道のサッカー文化へ全面的に関与し北海道サッカー協会の一翼を担って行きたいと思っております。

【北海道フットサル連盟】

フットサルを盛り上げていきましょう



一般社団法人北海道フットサル連盟 専務理事 荒川 浩幸

ひとつのボールで(One Ball for ALL)、このキャッチコピーは、(一財)日本フットサル連盟(以下「JFF」という。)が策定した理念を一言で表したものです。

2019年にスポーツ庁は、不祥事案の未然防止にとどまらず、スポーツの価値を高めることを目的としてスポーツ団体ガバナンスコードを策定し、中央競技団体と一般スポーツ団体とに分けて発表しました。当連盟もJFFの下部団体として全国9地域連盟と共にガバナンス整備の目的を知り、理解を深め取り組む準備を進めています。

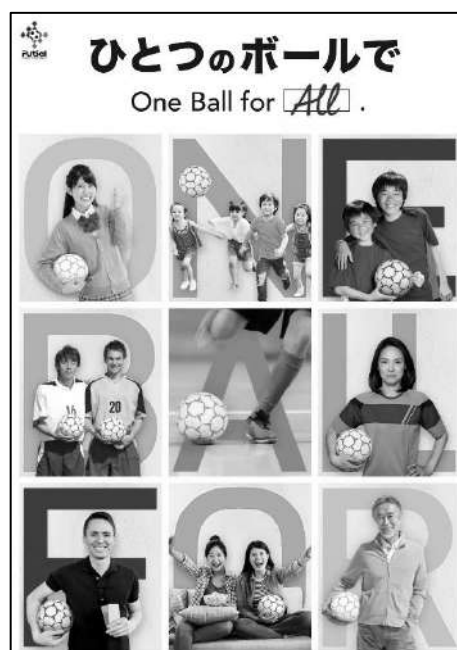
フットサルを取り巻く全てのステークホルダーがハッピーになることを目標とし、9地域47都道府県が運動し、モデル事業を立ち上げ、情報や地域の課題を共有しながら少しずつですが競技というコンテンツの価値向上の為、様々な施策を検討・実行しています。

当連盟の具体的な取り組みを紹介します。

フットサルをプレーする上で必要な登録制度が変更された2014年以降収益の殆どを交付金に依存していましたが、(公財)北海道サッカー協会のご理解とご協力を受け、2022年度より新たな連盟加盟登録制度を規定し進めています。また、当連盟女子委員会で検討を続けてきた育成年代のリーグ戦、クリニック事業(北海道エスクエラプログラ

ム)が独立行政法人日本スポーツ振興センター(toto)の交付金対象事業に選定されました。この助成の要件として、当連盟が法人団体でありガバナンスコードに基づく自己説明・公表を行うことも上げられます。

チームや選手のニーズも多様化し二極化が進んできていると実感する中でアプローチの仕方、プレーする場所や機会を作り続ける事、そして支える側においても人材確保は急務であり、このスポーツに関わる人々がハッピーになれるよう、組織が一丸となり、もっとフットサルを盛り上げていきたいと強く思うのである。



【北海道シニアサッカー連盟】

北海道シニアサッカー連盟の現状と今後



北海道シニアサッカー連盟 理事長 佐藤 英隆

新型コロナウイルス感染拡大の影響が顕在化した2020年4月に北海道シニアサッカー連盟理事長に就任し、今期で4年目を迎えました。コロナに翻弄された3年間でしたが、常に如何に事業を継続するかを連盟登録チームのみなさんと模索してきた結果、なんとか中止事業を最小限に留め、全国大会に繋がる全道大会や各地区リーグ戦などの主要事業は継続して実施する事ができました。まだまだ油断はできませんが、2023年度は全事業を予定通り実施できる見込みでホッとしているところです。

さて、北海道シニアサッカー連盟は2000年に発足し、2023年度で24年目を迎えますが、まだまだ歴史の浅い組織です。連盟は、会長1名・副会長3名・理事長1名・副理事長3名のほか、13名の常任理事、14名の理事、会計監事2名、2022年から新設したEA(Eecutive Adviser:連盟運営や普及等に関するアドバイザー)2名の総勢39名で理事会を構成し、全国大会につながる真剣勝負の全道シニア0-40/0-50/0-60/0-70サッカー大会、サッカーを楽しむ親睦を深めることが目的の全道シニア8人制オープン大会、北海道シニア8ツアーオープン大会、北海道シニアオ

ーペン大会、全道シニアフットサルオープン大会の企画・運営など、競技志向ごとのプレー環境を創出しています。このほか、道央地区、道南地区、十勝地区、オホーツク地区、釧路地区、根室地区、道北地区で40・50部門のサッカー及びフットサルのリーグを開催しているほか、60/70以上の部門は女子とも連携し、主に道央地区で夏と冬にリーグを開催しています。

登録状況は、2000年のシニア連盟発足時に11チーム・340名でスタートしたのち、年々増加の一途をたどり、2023年度には128チーム・2600名程度になる見込みで、今後も増加することが予想されます。

今後については、サッカーが生涯スポーツと言われて久しく、シニア種の活動領域がより一層広がることが予想されるため、シニア部門のサッカー環境を充実させ持続可能な組織とする必要があると考えています。そのため、以下の項目などを当面の課題と考え、各課題に対し少人数制のワーキンググループによる勉強会を実施しているところです。

- ・10年後のシニア種のあり方
- ・シニアカテゴリーの普及(ミドル年代からの継続者のスムーズな移行、競技を一時中断した再開者や初心者が入りやすい環境及びニーズにあったサッカーをできる環境の創出)、
- ・女子部門との連携
- ・審判スキルの向上及び資格保持者の増強、
- ・道外地域との交流
- ・連盟予算等会計関連

【北海道チャレンジドサッカー連盟】

チャレンジドサッカーの取組



北海道チャレンジドサッカー連盟 会長 佐橋 正智

主に知的障がいのあるジュニア・成人を対象とした連盟です。この2年間はコロナ禍の中で十分な活動を展開することができませんでしたが、各大会ではジュニア・高校生・社会人とクラス分けし、それぞれに日頃の練習成果を発揮する「フリークラス」とボールに親しみサッカーを楽しむ「フレンドリークラス」に分けて運営し、障がいの程度や各自の興味のあり方等に配慮しています。

＜基本的活動＞

大会関係では、11人制・8人制大会、高等養護学校大会・フットサル大会があり、交流関係でウエルビーイングフットサルフェスティバル、札幌と旭川でサッカーフェスティバルを開催し、普及も図っています。他にも指導者講習会等を企画しています。

＜2021年度の活動＞

コロナ禍による制限が強まる中、すべての活動において実施することができませんでした。障がいに伴う合併症や持病を抱える人も多く、各選手が所属する特別支援学校や福祉事業所等でも感染対策が強化される中、中止せざるを得ないという立場に立ちました。

＜2022年度の活動＞

コロナ対策の可視化が進む中、事業の再開方法を主に検討しました。6月12日には第21回11人制大会を栗山町で、7月10日には第14回北海道高等養護学校大会を新篠津村で開催しました。各チームに感染対策者を1名置き感染対策の徹底を図ることや、当日の消毒、日程の変更等できるかぎりの感染対策を行い、久しぶりにサッカーを楽しむことができました。その後感染者数の急激な上昇傾向に伴い、9月予定の8人制大会は中止としましたが、12月18日のウエルビーイングフットサルフェスティバルは厚別区体育館で、2023年1月21日には第22回フットサル大会をつどーむで開催しました。どちらも、クラスごとに実施時間を変えるなど屋内での密に配慮しています。8月20日に旭川でサッカーフェスティバル、12月には南区体育館でフットサル指導者講習会も実施しました。

＜今後の課題や展望＞

コロナ禍の中で、サッカーから離れてしまう傾向が顕著に浮かび上がりました。ジュニアチームの休止、特別支援学校のサッカー部員の減少などに対し、今一度普及を図りサッカーの魅力を広く伝えることが、ここ数年の大きな課題となります。

【北海道ビーチサッカー連盟】

未来のアイランド Beach Sports?!



北海道ビーチサッカー連盟 理事長 溝口 昇

道内のビーチサッカー競技等は、2006年から(財)北海道サッカー協会(HFA)が主催者(主管北海道フットサル連盟)となり、厚真町浜厚真海岸や石狩浜海水浴場(あそび一ち石狩)において行われておりました。

日本のビーチサッカー界の動きとしては、ビーチサッカーにおける唯一の統括団体として、(一財)日本ビーチサッカー連盟(JBSF)が2015年4月に設立されました。その後、2017年3月、9地域組織化(北海道を除く8地域が組織化済)を条件に(公財)日本サッカー協会(JFA)の加盟団体となったことから、北海道地域の組織化を強く求められたため、組織体制づくり等進めるとともに、JFA、JBSF及びHFAとの協議を重ね、2018年5月に北海道ビーチサッカー連盟(HBSF)を設立にまで至りました。

連盟設立により、2018年以降、HBSFがビーチサッカー事業を行ってきております。

私たちの活動の場は、常設のビーチサッカーコートがないため、遠隔地であるイタンキ浜(室蘭市)やあそび一ち石狩(有料施設)を管理している行政機関へ、海岸(海浜地)の使用許可(石狩市有料)を取り使用しています。あそび一ち石狩においては、海水浴期間中使用できないこともあり、海水浴シーズン終了後使用している状況です。ビーチサッカー会場の設営は、コートラインのテープ敷設やゴール、運営本部等テントの設置。さらにはビーチのごみ拾い

活動等多くの時間と経費を要して行わなければなりません。

また、ビーチサッカー競技会やビーチサッカーフェスティバル参加者は、主にフットサルやサッカーを行っている選手達です。道内には、ビーチサッカーを主体に活動しているチームや選手がいないため、ビーチサッカーの普及・発展に繋がっていないのが現状です。

この場所に行ったら誰もが、いつでもビーチサッカーに親しみ、自然を享受することができる「アイランド」が私たちの夢です。

「ブルーカーボンが地球を救う?!」をテーマに、より良い未来のビーチサッカーのために、あそび一ち石狩に突堤等を構築し、海藻の藻場と砂浜の保全による自然環境の再生とビーチスポーツの場を整備するアイランド構想を作り、行政機関に働きかけを行います。自然環境と親しみながらビーチスポーツができる環境を目指します。

データベース

2021年度

2021年度各事業大会結果報告

国民体育大会サッカー競技					国体	
年	回	開催地	北海道代表	最終結果	スコア	優勝チーム
2021		三重		中止		

全道高等専門学校(U-19)サッカー新人大会							第1種	
年	回	開催地						
2021	11	中止						

全国高等専門学校サッカー選手権大会						
北海道予選			全国大会			
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/会場	優勝チーム
2021	54	旭川	1位 苫小牧高専 2位 旭川高専		54 2021年12月	苫小牧工業高等専門学校

北海道専門学校サッカー選手権大会北海道地区予選会							全国専門学校サッカー選手権大会	
北海道予選			全国大会					
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/会場	優勝チーム		
2021	31	札幌	優勝 北海道スポーツ専門学校			中止		

北海道専門学校サッカーリーグ						
年	開催地					
2021	開催なし					

北海道学生サッカーリーグ							全日本大学サッカー選手権大会	
北海道予選			全国大会					
年	回	チーム数	結果		回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	
2021	40	8	(1部)札幌大学	東海大学札幌校舎	教育大学岩見沢校	70 2021年12月	札幌大学	
		6	(2部)北海道大学	教育大旭川校	小樽商科大学	NACK5スタジアム大宮	1回戦敗退	
					駒澤大学	東海大学札幌校舎	1回戦敗退	

インディペンデンスリーグ北海道大会						
年	回	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2021	13	12	札幌大学B	教育大学岩見沢校A	札幌大学A	

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント						
北海道予選			全国大会			
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/会場	優勝チーム
2021	45	札幌	優勝 札幌大学	準優勝 教育大学岩見沢校	45 2021年8月-9月	味の素フィ
					法政大学	1回戦敗退 札幌大学

デンソーカップチャレンジサッカー						
全国大会						
年	回	会場	北海道代表チーム	最終結果	優勝チーム	
2021	36	非公開	北海道選抜	プレーオフ敗退	関東選抜B	

知事杯全道サッカー選手権大会						
北海道予選						
年	回	開催地				
2021		中止				

HKFA北海道サッカー選手権大会							天皇杯全日本サッカー選手権大会	
北海道代表決定戦			全国大会					
年	回	開催地	チーム数	結果	回/優勝チーム	北海道代表チーム		
2021	3	札幌	4	優勝 北海道十勝スカイアース 準優勝 ノルブリッツ北海道FC 3位 札幌大学 教育大学岩見沢校	101	浦和レッズ		
						北海道十勝スカイアース 2回戦敗退		

全道社会人サッカー選手権大会							全国社会人サッカー選手権大会	
北海道予選			全国大会					
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/開催地	優勝チーム		
2021	57	岩見沢	優勝 北海道十勝スカイアース		57	中止		

全国クラブチームサッカー選手権大会						
北海道予選			全国大会			
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/開催地	優勝チーム
2021	28	旭川	優勝 VERDELAZZO旭川		28 2021/10/26 茨城県	F.C.Lazo
						1回戦敗退 VERDELAZZO旭川

全道自治体職員サッカー選手権大会							全国自治体職員サッカー選手権大会	
北海道予選			全国大会					
年	回	開催地	北海道代表チーム	最終結果	回/日程/開催地	優勝チーム		
2021	51	中止				開催なし		

北海道サッカーリーグ						
年	回	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2021	44	10	北海道十勝スカイアース	ノルブリッツ北海道FC	札大GP	
北海道サッカーリーグブロックリーグ決勝大会						
年	回	開催地	チーム数	Aブロック1位	Bブロック1位	
2021	19	幕別	8	サンクFC刈りやま	ASC北海道	
北海道サッカーリーグ ブロックリーグ						
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2021	札幌	6	札幌ヒヤシンスFC	札幌北大クラブ	ソレラマ札幌	
	道央・道北	6	サンクFC刈りやま	VERDELAZZO旭川	CLUBE TREVO	
	道南	6	函館市役所サッカー部、ASC北海道	蹴鞠会	トヨタ自動車北海道サッカー部	
	道東	6	釧路市役所サッカー部	蹴鞠会	クラブス	
全道ミドル(30over)サッカー選手権大会						
年	回	開催地	1位		3位	
2021	13	小樽	ヒヤシンスミドル	FC アポンド	YUTO.SC	
全国地域サッカーチャンピオンズリーグ(全国地域サッカーリーグ決勝大会)						
全国大会						
年	回	会場	北海道代表チーム	最終結果	予選リーグ結果	優勝チーム
2021	45	パルコムBMWスタジアム	北海道十勝スカイアース	予選R敗退	グループC3位(0勝2引1敗)	Criacao Shinjuku
全道自衛隊サッカー大会						
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/開催地 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	56	中止			56	開催なし
第2種(U-18)						
全国高校サッカー選手権大会						
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2021	100	札幌	30	優勝 北海高校 準優勝 旭川実業高校 3位 札幌大谷高校 駒澤大学付属苫小牧高校	21年12月-22年1月 国立競技場他 青森山田高校	北海高校 1回戦敗退
全国高等学校総合体育大会サッカー競技						
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/開催地 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2021	74	小樽	24	優勝 旭川実業高校 準優勝 札幌大谷高校	2021/8福井 青森山田高校	旭川実業高校 2回戦敗退
日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会						
全国大会						
年	回	開催日程	開催地	北海道代表チーム	最終結果	予選リーグ結果 優勝チーム
2021	45	7月	群馬県	北海道コンサドーレ札幌U-18	準優勝	2勝1敗 名古屋グランパス
高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プレミアリーグ参入戦						
全国大会						
年	開催地	結果				
2021	広島県	桐生第一高校	川崎フロンターレU-18	静岡学園高校	前橋育英高校	JFAアカデミー福島U-18 履正社高校
高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プリンスリーグ北海道						
年	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2021	札幌・旭川他	8	北海道コンサドーレ札幌U-18	旭川実業高校	北海道大谷室蘭高校	
高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ 北海道ブロックリーグ						
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2021	札幌	8	[1部]北海A	札幌大谷B	札幌光星A	
		8	[2部]北海B	札幌第一B	札幌光星B	
		8	[3部A]札幌創成C	札幌龍谷学園	北星学園大附属B	
		8	[3部B]札幌大谷C	札幌西	とわの森三愛B	
	道央	8	[4部A]札幌南	市立札幌藻岩	札幌大谷E	
		8	[4部B]札幌東B	札幌創成D	札幌静修	
		8	[4部C]北海D	札幌月寒	札幌東陵	
		8	[1部]滝川西	北広島	札幌日大	
	道南	12	[2部A]北広島西	滝川	小樽桜陽	
		8	[2部B]文教大学附属	北照2nd	北広島2nd	
		8	[1部]大谷室蘭セカンド	北海道栄	函館有斗	
		8	[1部]帯広北	釧路北陽	帯広緑陽	
道北	8	[2部]帯広北2nd	網走南ヶ丘	帯広大谷2nd		
	8	[3部]帯広大谷3rd	遠軽	釧路明輝		
	8	[1部]旭川実業(2rd)	旭実FC(2nd)	旭川南		
	6	[2部]旭川実業(3rd)	旭川東	名寄		
			[3部]旭川実業(4th)	留萌	旭川工業	
高田宮杯JFAU-18サッカープリンスリーグ北海道 プレーオフ						
年	開催地	結果				
2021	札幌	優勝	北海高校	準優勝	旭川実業高校2nd	3位 札幌光星高校 4位 北海道栄高校

高円宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会									
全国大会									
年	開催日程 開催地	北海道代表チーム		最終結果	予選リーグ結果	優勝チーム			
2021	12/11-12/27 味の素フィールド西が丘他	北海道コンサドーレ札幌U-15 北海道コンサドーレ室蘭U-15		準々決勝敗退 1回戦敗退		サガン鳥栖U-15			
北海道中学校体育大会北海道中学校サッカー大会				全国中学校体育大会全国中学校サッカー大会					
北海道予選				全国大会					
年	回	開催地			回/日程/会場 優勝チーム	参加チーム/最終結果 予選リーグ等結果			
2021	60	浦河	優勝	札幌大谷中学校	準優勝	音更町立下音更中学校	52	2021年8月山梨 神村学園	札幌大谷中、音更町立下音更中 ベスト8 1回戦敗退
日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会									
全国大会									
年	回	開催日程	参加チーム/最終結果						
2021	36	帯広	優勝	FC東京むさし	コンサドーレ旭川	ラウンド16敗退			
北海道カプスリーグU-15									
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位			
2021	14	札幌・函館他	10	[1部] 日程未消化のため順位決定なし					
			10	[2部] 日程未消化のため順位決定なし					
高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ ブロックカプスリーグ									
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位				
2021	札幌	8 1部	LIV FOOTBALL CLUB U-15	北海道コンサドーレ札幌(2nd)					
		8 2部A	クラブフィールズU-15(2nd)	CASCADEL SAPPORO U-15					
		8 2部B	FC DENOVA 2nd	FCフォルテU-15					
	道央	8 1部	三笠FC	DOHTO セカンド	パーモス恵庭				
		8 2部	Regaris小樽	栗山・明成・南幌・東光	千歳富丘・青葉中				
	道南	8	北湘南	桜蘭中	ASC 2nd				
	道東	8	幕別札幌FC	音更町立緑南中学校	音更町立下音更中学校				
	道北	8	TRAUM	緑が丘	永山				
北海道カプスリーグU-13									
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位			
2021		札幌・函館他	1部	10 未消化のため順位決定なし					
		札幌・室蘭他	2部	8 未消化のため順位決定なし					
			3部	6 HKD FOOTBALL CLUB U-15	FCフォルテU-15	アスルクラロ札幌U-15			
北海道ブロックカプスリーグU-13									
年	回	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位			
2021		道南	8	北湘南サッカースクール	伊達中学校	ASC 2nd			
		道東	7	NFCLレグスU-15	音更町立下音更中	音更町立緑南中			
全日本少年サッカー大会									
北海道予選				全国大会					
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果			
2021	45	恵庭市他	16	優勝 DOHTO Jr U-12 準優勝 FC DENOVA 札幌 3位 北海道コンサドーレ札幌U-12 HKD FOOTBALL CLUB U-12	2021年12月 白波スタジアム他 レジスタFC	DOHTO Jr ラウンド16敗退 1次RL2位(2勝1敗)			
全日本少年サッカー大会ブロック予選									
年	ブロック								
2021	札幌	北海道コンサドーレ札幌U-12	FC DENOVA	HKD FOOTBALL CLUB U-12	SSS札幌サッカースクール				
	道央	ASARI football CLUB	滝川明苑						
	道南	北湘南サッカースクール	北海道コンサドーレ室蘭U-12	フロンティアトルナーレU-12					
	道東中止	稲田サッカー少年団	北見リトルウイングス	愛国ビクトリー					
	道北	北海道コンサドーレ東川U-12	Faminas A	トロンコ旭川					
フジパングループPresentsロバパンCUP全道(U-12)サッカー少年団大会									
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位				
2021	53	十勝	JSNサッカークラブ レッド	SSS札幌サッカースクール	苫小牧ELSOLE-FC U-12	北海道コンサドーレ東川U-12			
トラック協会杯全道少年団(U-11)サッカー大会									
年	回	開催地							
2021	33	中止							
全道少年(U-12)8人制サッカー大会				JA全農杯テレビンピック小学生8人制サッカー大会					
北海道予選				全国大会					
年	回	開催地	優勝	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果				
2021	18	苫小牧	LIV FOOTBALL CLUB U-12	日産スタ オオタFC	LIV FOOTBALL CLUB U-12	1回戦敗退			
岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北北海道大会									
年	回	開催地							
2021	17	中止							
全道少年U-10サッカー北北海道大会									
年	回	開催地							
2021	17	中止							
キャノン ガールズ・エイトJFA北海道ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会									
年	回	開催地	チーム数						
2021	19	新篠津	6	※交流大会として実施					
熊谷・高瀬杯ガールズ(U-12)サッカー大会									
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位				
2021	9	札幌	空知FCガールズU-12	北海道コンサドーレ札幌Girls	旭川女子トレセンU-12				

道新旗 北海道女子サッカーリーグ					皇后杯 JFA全日本女子サッカー選手権大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2021	16	札幌	6	優勝 北海道文教大学附属高等学校女子サッカー部 準優勝 札幌大学女子サッカー部ヴィスタ 3位 北海道大谷室蘭高等学校女子サッカー部	43 21年11月-2月 サンガスタジアム他 浦和レッズレディース	ノルディア北海道 1回戦敗退 北海道文教大学附属高等学校女子サッカー部 1回戦敗退

北海道女子サッカーリーグ参入決定戦 兼 ブロック代表サッカー大会						
年	回	開催地	第1位	第2位	第3位	
2021		札幌	旭川実業高校	室蘭アイスバーズ	北照高校	

全道O-30女子サッカー大会					JFA全日本O-30女子サッカー大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	33	札幌	2	優勝 HABATAKE 準優勝 室蘭アイスバーズ	31 中止	

全日本大学女子サッカー選手権大会						
全国大会						
年	回	開催日程	会場	北海道代表チーム	最終結果	優勝チーム
2021	30	21年12月-22年1月	味の素フィールド他	札幌大学	1回戦敗退	早稲田大学

北海道高等学校女子サッカー選手権大会					全日本高等学校女子サッカー選手権大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	30	小樽	10	優勝 北海道文教大学附属高等学校 準優勝 北海道大谷室蘭高等学校 3位 北照高等学校女子サッカー部 旭川実業高等学校	30 2022年1月 ノエビアスタジアム他 神村学園高等部	北海道文教大学附属高等学校 1回戦敗退 北海道大谷室蘭高等学校 1回戦敗退

北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技					全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会女子	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	優勝		日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2021		小樽市	北海道大谷室蘭高等学校		21年8月 福井県 神村学園	北海道大谷室蘭高等学校 1回戦敗退

北海道女子ユース(U-18)サッカー選手権大会					JFA全日本U-18女子サッカー選手権大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	24	室蘭	5	優勝 クラブフィールズ・リンダ 準優勝 北海道リラ・コンサドーレ 3位 ASC北海道レディース 室蘭アイスバーズ	25 2022年1月 J-GREEN堺 セレッソ大阪堺ガールズ	クラブフィールズ・リンダ 1回戦敗退

北海道U-15女子サッカー選手権大会					JFA全日本U-15女子サッカー選手権大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	29	帯広 札幌	17	優勝 北海道リラ・コンサドーレ 準優勝 クラブフィールズ・リンダ 3位 ASC北海道レディース 十勝FSリトルガールズ	26 2021年12月 味の素フィールド他 東京ヴェルディメニーナ	北海道リラ・コンサドーレ 1回戦敗退 クラブフィールズ・リンダ 2回戦敗退

北海道女子8人制リーグフェスティバル 北海道レディースエイトリーグ						
年	開催地	優勝	準優勝	第3位		
2021	札幌	YMP	きびちゃんZoo	HABATAKEO-40	エスポラーダ北海道イルネーヴェSecond	

北海道女子8人制サッカーフェスティバル(U-13)						
年	回	開催地	優勝	準優勝		
2021	1	札幌	1日目 札幌トレセンS 2日目 札幌トレセンR	1日目 札幌トレセンP 2日目 道北女子トレセン		

全国健康福祉祭<ねんりんピック>サッカー交流大会(60歳以上)						
全国大会						
年	回	会場				
2021	33	中止				

全道シニア70サッカー大会(70歳以上)					O-70サッカーオープン大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2021	10	夕張	6	優勝 函館四十雀70 準優勝 苫小牧シニア70サッカークラブ 3位 札幌サッカークラブ七十雀 札幌シニアクラブ70	15 中止	

全道シニア60サッカー大会兼全国シニア(60歳以上)サッカー大会					全国シニア(60歳以上)サッカー大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2021	29	帯広	16	優勝 室蘭シニア60サッカークラブ 準優勝 札幌60CERI鳥 3位 岩見沢シニア60サッカークラブ とかち六十雀サッカークラブ	21 中止	

全道シニア50サッカー大会兼全国シニア(50歳以上)サッカー大会					全国シニア(50歳以上)サッカー大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2021	37	浜厚真	12	優勝 札幌50CERI烏 準優勝 Docon Jack 50 3位 オッサンドーレ札幌50 室蘭シニア50サッカークラブ	20 2021年11月 カンセキスタジアムとちぎ 四十雀クラブ東京50	Docon Jack 50 1次R敗退 グループD4位(0勝3敗)

全道シニア40サッカー大会兼全国シニア(40歳以上)サッカー大会北海道予選					全国シニア(40歳以上)サッカー大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2021	46	夕張	16	優勝 オッサンドーレ札幌40 準優勝 FCK ZIEX 3位 帯広フットボールクラブ アンフィニ VANKEI.FC40	9 2021年11月 藤枝サッカー場 FC船橋	オッサンドーレ札幌40 予選リーグ敗退 グループC3位(1勝2敗)

日本スポーツマスターズ(35歳以上)		
全国大会		
年	開催地	優勝
2021	岡山県	中止

北海道シニアサッカー大会						
年	回	開催地	カテゴリー	チーム数 優勝	準優勝	3位
2021	21	中止				

北海道シニア8(エイト)サッカーツアーオープン大会		
年	回	開催地
2021	7	中止

全道シニア8人制サッカー大会(全道シニア8人制サッカーオープン大会)		
年	回	開催地
2021	17	中止

フットサル

全日本フットサル選手権大会 北海道地域大会						全日本フットサル選手権大会	
北海道予選						全国大会	
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	27	釧路	Sorpresa	FC網走	D.F Evolve釧路	LEVO函館	2022/3/1 立川・府中アスレティックFC 1回戦敗退 Sorpresa

北海道女子フットサル大会					全日本女子フットサル選手権大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	20	札幌	13	優勝 エスポラーダ北海道イルネーヴェ 準優勝 釧路リベラルティ 3位 Colmillo 札幌レディース	中止	

全道大学フットサル大会兼全日本大学フットサル大会北海道代表決定戦					全日本大学フットサル大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	優勝		回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	16	札幌	北海道大学	Esperanza	17	中止

全道(U-18)フットサル大会兼全日本ユース北海道予選					全日本ユース(U-18)フットサル大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	第1代表	第2代表	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	33	札幌	科学大学校	釧路北陽高校	22年8月三里県 9 遊学館・ベスカドーラ 町田	北海道科学大学・釧路北陽高校 1次ラウンド敗退

全道(U-15)フットサル大会兼全日本ユース北海道予選					全日本ユース(U-15)フットサル大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	結果		回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	33	十勝	優勝 北海道コンサドーレ旭川U-15 準優勝 SSSジュニアユース 第3位 LIV FOOTBALL CLUB		27 2022年1月 三重県営 コンサ旭川	北海道コンサドーレ旭川U-15 優勝 SSSジュニアユース 1次ラウンド敗退

全道女子(U-15)フットサル大会兼全日本女子ユース北海道予選					全日本女子ユース(U-15)フットサル大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	結果		回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	13	芽室	優勝 クラブフィールズ・リンダ 準優勝 十勝FSリトルガールズU-15		12 2022年1月 三重県営 十文字中学校	クラブフィールズ・リンダ 1次R敗退 グループC3位(2敗)

パーモントカップ全日本少年フットサル大会北海道予選					パーモントカップ全日本少年フットサル大会	
北海道予選					全国大会	
年	回	開催地	第1代表	第2代表	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	31	札幌	LIV FOOTBALL CLUB U-12	北郷瑞穂サッカースポーツ少年団	31	中止

全道フットサル選手権大会 一般	
年	開催地
2021	中止

全道フットサル選手権大会 女子					
年	回	開催地			
2021		中止			
全道シニアフットサル選手権大会					
年	回	開催地			
2021		中止			
全道フットサル選手権大会 U-14					
年	回	開催地			
2021		中止			
全道フットサル選手権大会 U-12					
年	回	開催地			
2021		中止			
全道少女フットサル大会					
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位
2021	32	札幌	LIV FOOTBALL CLUB	空知FCガールズ	リカシィ・北海道コンサドーレ札幌U-12Girls
パーモントカップ全日本少年フットサル大会北海道予選ブロック大会					
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位
2021		札幌	LIV.FC U-12	北郷瑞穂	篠路FC
		道央	稲穂	東FC	ASARI
		道南	プレイフル函館ジュニア	Arearea FC	函館サッカースクール
		道東	網走市サッカースポーツ少年団	北海道コンサドーレ釧路U-12	帯広フットボールクラブ
		道北	トロンコ旭川	ファミナスA	ファミナスB
北海道フットサルリーグ			F地域チャンピオンズリーグ		
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	チーム数	優勝	回/日程/会場 優勝チーム
2021	22	札幌他	10	Safilva	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	21	中止			
北海道フットサルリーグ ブロックリーグ決勝大会(北海道フットサル地区リーグ決勝大会)					
年	回	開催地	優勝	準優勝	
2021	5	札幌市	Sorpresa	F.S十勝	
SuperSports XEBIO 北海道フットサルリーグ ブロックリーグ					
年	回	ブロック	チーム数	優勝	準優勝
2021	5	札幌	7	Sorpresa	arusu
		道南	6	Dominar	REUNION
		道東	4	FS十勝	Armada
		道北	9	MADNESS A.F.C	緑の森AHFC
					dispositivo de fut
北海道女子フットサルリーグ			FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ		
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝
2021	11	札幌他	6	Colmillo	S.L DasPeed
					回/日程/会場 優勝チーム
					北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	9	アニージャ湘南	S.L DasPeed 1次ラウンド敗退		
北海道女子フットサルリーグ(2部)					
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝
2021	11	札幌他	7	ASC北海道レディース	BrillaLula函館
全道自治体職員フットサル大会					
年	回	開催地			
2021	16	南	開催なし		
		北	開催なし		
北海道フットサルリーグカップ					
年	回	開催地			
2021	10	中止			
LUXPERIOR CUP 第17回北海道地域大学フットサルリーグ2021					
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝
2021	17	札幌	6	Hermosa Cadera	北海道大学Esperanza
U-10フットサルリーグ					
年	回	開催地	優勝		
2021	17	札幌	1日目	AGGRE U-12	
U-8フットサルリーグ					
年	回	開催地	優勝		
2021	12	札幌	1日目	白石F倶楽部	
全道(U-15)フットサル大会兼全日本ユース北海道代表決定戦 ブロック予選					
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位
2021		札幌	札幌大谷中学校	LIV FOOTBALL CLUB U-15	SSSジュニアユース
		道央	DOHTOジュニアユース	長沼中学校	パーモス恵庭FC
		道南	アスクラロ函館U-15	登別市立緑陽中学校	泊SC A
		道東	下音更中学校A	コンサドーレ釧路A	Felire FC U-15
		道北	北海道コンサドーレ旭川U-15	稚内南中学校	遠軽中学校
					SC釧路A
ビーチサッカー大会北海道予選					
北海道予選			全国ビーチサッカー大会		
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム
2021	16	イタンキ浜	2	優勝 大鎮キムラ建設 By II 準優勝 MIRAGE	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2021	16	中止			

ビーチ

北海道チャレンジドサッカー大会(11人制)		
年	回	開催地
2021	19	開催なし

北海道チャレンジドサッカー大会(8人制)		
年	回	開催地
2021	19	開催なし

北海道高等養護学校サッカー大会		
年	回	開催地
2021	12	開催なし

北海道チャレンジドフットサル大会		
年	回	開催地
2021	20	開催なし

2021年度日本代表各カテゴリー選手/役員(北海道関連)

2023年6月現在

なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合	
4/8パラグアイ代表 @宮城県	4/11パナマ代表 @東京都
三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)	
U-16日本女子代表候補 トレーニングキャンプ	
4/12~4/16 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
U-17日本代表候補 トレーニングキャンプ	
4/12~4/15 @高円宮記念JFA夢フィールド	
西野 奨太 (北海道コンサドーレ札幌U-18)	
フットサル日本女子代表候補 トレーニングキャンプ	
4/22~4/25 @高円宮記念JFA夢フィールド	
山本 楓果 (エスポラーダ北海道イルネーヴェ)	
フットサル日本代表候補 トレーニングキャンプ	
5/3~5/5 @茨城県	
関口 優志(名古屋オーシャンズ)	室田 祐希(エスポラーダ北海道)
U-18日本代表候補 トレーニングキャンプ	
5/5~5/9 @Jヴィレッジ	
松田 隼風(JFAアカデミー福島U-18)	松木 玖生(青森山田高)
U-16日本代表候補 トレーニングキャンプ	
5/10~5/13 @静岡県	
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会JFAコーチ)	荒木 健斗(北海道コンサドーレ札幌U-18)
佐々木 奏太(北海道コンサドーレ札幌U-18)	
なでしこジャパン(日本女子代表)候補 トレーニングキャンプ	
5/11~5/17 @Jヴィレッジ	
三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)	
U-19日本女子代表候補 トレーニングキャンプ	
5/16~5/20 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
フットサル日本代表候補 トレーニングキャンプ	
5/20~5/23 @静岡県	
坂 桂輔(エスポラーダ北海道)	
U-20日本代表候補 トレーニングキャンプ	
5/31~6/3 @千葉県	
松木 玖生(青森山田高)	
フットサル日本女子代表候補 トレーニングキャンプ	
6/3~6/6 @福島県	
齊下 遼音(立川・府中アスレティックFCレディース)	
なでしこジャパン国際親善試合	
6/10ウクライナ女子代表 @広島県	
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ)	
なでしこジャパン MS&ADカップ2021	
6/13メキシコ女子代表 @栃木県	
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ)	

U-17日本代表候補トレーニングキャンプ	
6/19～6/23 @千葉県	
西野 奨太(北海道コンサドーレ札幌U-18)	
U-19日本女子代表候補トレーニングキャンプ	
6/21～6/24 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
U-16日本女子代表候補トレーニングキャンプ	
6/27～7/2 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
フットサル日本代表候補トレーニングキャンプ	
6/28～6/30 @千葉県	
関口 優志(名古屋オーシャンズ)	室田 祐希(エスポラーダ北海道)
U-16日本代表候補トレーニングキャンプ	
7/5～7/8@千葉県	
荒木 健斗(北海道コンサドーレ札幌U-18)	
U-15日本代表候補トレーニングキャンプ	
7/19～7/23 @静岡県	
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会)	坂本 勘汰(北海道コンサドーレ旭川U-15)
なでしこジャパン 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)サッカー競技(女子)	
7/21～8/6 @東京都	
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ)	三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
フットサル日本代表候補トレーニングキャンプ	
7/22～7/30&8/2～8/6 @高円宮記念JFA夢フィールド	
関口 優志(名古屋オーシャンズ)	室田 祐希(エスポラーダ北海道)
フットサル日本代表 ヨーロッパ遠征	
8/7～9/2@スペイン、ポルトガル	
関口 優志(名古屋オーシャンズ)	室田 祐希(エスポラーダ北海道)
U-15日本女子代表【HiFA 平和祈念 2021 Balcom BMW CUP 広島女子サッカーフェスタ】	
8/8～8/11 @広島県	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
東堂 正枝(北海道リラ・コンサドーレ)	
U-18日本代表候補トレーニングキャンプ	
8/24～8/29 @Jヴィレッジ	
松田 隼風(JFAアカデミー福島U18)	
FIFAフットサルワールドカップリトアニア2021 フットサル日本代表	
9/12～10/3@リトアニア	
関口 優志(名古屋オーシャンズ)	室田 祐希(エスポラーダ北海道)
U-15日本代表候補トレーニングキャンプ	
9/26～9/30@Jヴィレッジ	
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会JFAコーチ)	
U-16日本代表候補トレーニングキャンプ	
10/4～10/8@Jヴィレッジ	
佐々木 奏太(北海道コンサドーレ札幌U-18)	

U-19日本女子代表候補トレーニングキャンプ
10/11～10/14@Jヴィレッジ
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
なでしこジャパン(日本女子代表)候補トレーニングキャンプ
10/18～10/24@高円宮記念JFA夢フィールド
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
U-17日本代表候補トレーニングキャンプ
10/24～10/28@J-GREEN堺
西野 奨太(北海道コンサドーレ札幌U-18)
U-16日本女子代表候補トレーニングキャンプ
11/7～11/12@Jヴィレッジ
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
U-18日本代表候補トレーニングキャンプ
11/12～11/18@高円宮記念JFA夢フィールド
松田 隼風(JFAアカデミー福島U-18)
U-19日本女子代表候補トレーニングキャンプ
11/15～11/18@Jヴィレッジ
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
U-16日本代表候補トレーニングキャンプ
11/22～11/28@Jヴィレッジ
佐々木 奏太(北海道コンサドーレ札幌U-18)
フットサル日本女子代表候補トレーニングキャンプ
11/25～11/28@高円宮記念JFA夢フィールド
斉下 遼音(立川・府中アスレティックFCレディース)
国際親善試合なでしこジャパン(日本女子代表)
11/25アイスランド女子代表@オランダ 11/29オランダ女子代表@オランダ
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ) 三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
フットサル日本代表候補トレーニングキャンプ
12/13～12/15@高円宮記念JFA夢フィールド
坂 桂輔(エスポラーダ北海道)
U-18日本代表トレーニングキャンプIBARAKI Next Generation Match 2021
12/13～12/19@千葉県・茨城県
松田 隼風(JFAアカデミー福島U-18)
U-20フットサル日本代表候補トレーニングキャンプ
12/27～12/30@高円宮記念JFA夢フィールド
コーチ:高橋 健介(日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
なでしこジャパン(日本女子代表)AFC女子アジアカップインド2022
1/20～2/6@インド
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ) 三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)

U-19日本代表候補トレーニングキャンプ

2/27～3/2@高円宮記念JFA夢フィールド

松田 隼風(水戸ホーリーホック)

U-16日本女子代表 JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup

3/16～3/21@沖縄県

伊藤 楓夏(北海道リラ・コンサドーレ)

U-21日本代表 ドバイカップU-23

3/23～3/29@アラブ首長国連邦

松木 玖生(FC東京)

データベース

2022年度

2022年度各事業大会結果報告

国体

国民体育大会サッカー競技					
年	回	開催地	北海道代表 最終結果	スコア	優勝チーム
2022	77	栃木	少年男子:4位 少年女子:1回戦敗退 成年男子:1回戦敗退	少年男子:1回戦vs鹿児島4-0、2回戦vs京都1-0、準々決勝vs新潟2-2(pk6-5)、準決勝vs青森0-0(pk3-4)、3位決vs大阪1-2 少年女子:1回戦vs静岡0-8 成年男子:1回戦vs岐阜0-4	少年男子:神奈川 少年女子:東京 成年男子:大分

第1種

全道高等専門学校(U-19)サッカー新人大会				
年	回	開催地		
2022	13	苫小牧	決勝・3位決定戦 中止	

全国高等専門学校サッカー選手権大会					
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	55	苫小牧	1位 苫小牧高専 2位 旭川高専 3位 函館高専	55 2022年8月 香川県 岐阜高専	苫小牧工業高等専門学校 準決勝敗退

北海道専門学校サッカー選手権大会北海道地区予選会					
北海道予選			全国専門学校サッカー選手権大会 全国大会		
年	回	開催地	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	32	札幌	優勝 北海道スポーツ専門学校	32回 2022/10/3~7 ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	4位 北海道スポーツ専門学校

北海道専門学校サッカーリーグ				
年	開催地			
2022	開催なし			

北海道学生サッカーリーグ					
北海道予選			全日本大学サッカー選手権大会 全国大会		
年	回	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	41	9 (1部)教育大学岩見沢校 8 (2部)教育大学旭川校 11 (3部)札幌大谷大学	札幌大学 小樽商科大学 教育大学釧路校	71 2023年1月 国立競技場 桐蔭横浜大学	北翔大学 札幌国際大学 北海道医療大学 教育大学岩見沢校 2回戦敗退

インディペンデンスリーグ北海道大会					
年	回	チーム数	優勝	準優勝	3位
2022	14	11	札幌大学	教育大学岩見沢校A	教育大学岩見沢校B

総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント					
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	44	札幌	優勝 教育大学岩見沢校 準優勝 札幌大学	46 2022年8月-9月 国士館大学	味の素フィ 教育大学岩見沢校 準々決勝敗退

デンソーカップチャレンジサッカー					
全国大会					
年	回	会場	北海道代表チーム	最終結果	優勝チーム
2022	37	大阪府 茨城県	北海道選抜	プレーオフ敗退	関西選抜

知事杯全道サッカー選手権大会				
北海道予選				
年	回	開催地		
2022		中止		

HKFA北海道サッカー選手権大会						
北海道代表決定戦			天皇杯全日本サッカー選手権大会 全国大会			
年	回	開催地	チーム数	結果	回/優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	4	帯広	4	優勝 札幌大学 準優勝 北海道十勝スカイアース 3位 ノルブリッツ北海道 東海大学札幌校舎	102 ヴァンフォーレ甲府	札幌大学サッカー部 2回戦敗退

全道社会人サッカー選手権大会					
北海道予選			全国社会人サッカー選手権大会 全国大会		
年	回	開催地	結果	回/日程/開催地 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	58	札幌	優勝 北海道十勝スカイアース 準優勝 BTOPサンククリやま	58 2022/10月、鹿児島 プリオベッカ浦安	BTOPサンククリやま 準優勝

全国クラブチームサッカー選手権大会					
北海道予選			全国大会		
年	回	開催地	結果	回/日程/開催地 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果
2022	29	遠軽	優勝 札幌ヒヤシンスFC 準優勝 札幌北大クラブ	29 2022/10/26 三重県 O K F C	準々決勝敗退 札幌北大クラブ

全道自治体職員サッカー選手権大会				
北海道予選			全国自治体職員サッカー選手権大会 全国大会	
年	回	開催地		
2022	52	中止	中止	

北海道サッカーリーグ						
年	回	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	45	8	BTOPサンククリヤマ	北海道十勝スカイアース	ノルブリッツ北海道	

北海道サッカーリーグブロックリーグ決勝大会						
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位
2022	20	函館	4	旭蹴会	日本通運FC	クラブス

北海道サッカーリーグ ブロックリーグ						
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	札幌	6	日本通運FC	札幌ヒヤシンスFC	アンフィニVANKEIFC	
	道央・道北	5	旭蹴会	KAMUI FC2000	VERDELAZZO旭川	
	道南	6	函館市役所サッカー部	トヨタ自動車北海道サッカー部	VAIN FC 伊達	
	道東	6	クラブス	FC網走	R.シュベルプ釧路	

全道ミドル(30over)サッカー選手権大会						
年	回	開催地	1位	2位	3位	
2022	14	岩見沢	1位 ヒヤシンスミドル	2位 YUTO.SC	3位 FC FALKE	

全国地域サッカーチャンピオンズリーグ(全国地域サッカーリーグ決勝大会)						
全国大会						
年	回	会場	北海道代表チーム	最終結果	予選リーグ結果	優勝チーム
2022	46	アースケア敷島サッカー場	BTOPサンククリヤマ	予選R敗退	グループA4位(0勝3敗)	プリオベッカ浦安

全道自衛隊サッカー大会						
北海道予選				全国自衛隊サッカー大会		
全国大会						
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/開催地	北海道代表チーム
2022	57	千歳	3	優勝	56	開催なし
				準優勝		
				3位		
				札幌駐屯地サッカー部		
				東千歳サッカー部		
				最終結果/予選リーグ結果		

第2種(U-18)

全国高校サッカー選手権大会						
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場	北海道代表チーム
2022	101	札幌	27	優勝	22年12月-23年1月	北海道代表チーム
				準優勝		
				3位		
				北海道大谷室蘭高校		
				札幌創成高校		
				1回戦敗退		

全国高等学校総合体育大会サッカー競技						
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/開催地	北海道代表チーム
2022	75	網走	24	優勝	2022年7月	北海道代表チーム
				準優勝		
				3位		
				札幌光星高校		
				徳島県		
				前橋育英		
				2回戦敗退		

日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会						
全国大会						
年	回	開催日程	開催地	北海道代表チーム	最終結果	予選リーグ結果
2022	46	7月	群馬県	北海道コンサドーレ札幌U-18	ラウンド16敗退	1勝2引
						優勝チーム
						セレッソ大阪

高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プレミアリーグ参入戦						
全国大会						
年	開催地	結果				
2022	広島県	市立船橋	旭川実業	昌平高校	尚志高校	米子北高校
						神村学園高等部

高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プリンスリーグ北海道						
年	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	札幌・旭川他	8	旭川実業高校	札幌大谷高校	北海道コンサドーレ札幌U-18	

高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ 北海道ブロックリーグ						
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	札幌	8	[1部]コンサドーレ札幌U-18(2nd)	とわの森三愛(top)	札幌創成B	
		8	[2部]札幌光星B	札幌東A	札幌山の手A	
		8	[3部A]札幌龍谷学園	北海D	札幌稲雲	
		8	[3部B]とわの森三愛B	札幌大谷D	北海C	
	8	[4部A]札幌工業	札幌東陵	札幌第一D		
	8	[4部B]とわの森三愛D	市立札幌平岸	クラーク記念国際B		
	8	[4部C]とわの森三愛C	クラーク記念国際A	札幌第一C		
	道央	8	[1部]北照	文教大	滝川西	
		12	[2部]文教大SECO	北照SECO	小樽潮陵	
	道南	7	[1部]駒大苫小牧	苫小牧工業	大谷室蘭セカンド	
		6	[2部東]駒大苫小牧	苫小牧東	大谷室蘭3rd	
		9	[2部西]函館ラサール	市立函館	函館大谷2nd	
	道東	8	[1部]帯広北	網走南ヶ丘	釧路北陽	
		6	[2部]帯広北(2nd)	帯広緑陽2nd	帯広大谷2nd	
		6	[3部]帯広大谷3rd	釧路湖陵	武修館	
	道北	8	[1部]旭川実業(2rd)	旭実FC	旭川大学	
8		[2部]旭川実業(3rd)	旭川永嶺	旭川龍谷		
5		[3部]旭川実業(4th)	旭川大学2nd	旭川明成2nd		

高田宮杯JFAU-18サッカーリーグ北海道 プレーオフ						
年	開催地	結果				
2022	札幌	優勝	旭川実業高校2nd	準優勝	帯広北	3位 駒大苫小牧
						4位 北照高等学校

第3種(U-15)

高田宮杯全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会						
全国大会						
年	開催日程	開催地	北海道代表チーム	最終結果	予選リーグ結果	優勝チーム
2022	12/10-12/27	味の素フィールド西が丘他	北海道コンサドーレ札幌U-15	2回戦敗退		ヴァンセル神戸U-15
			北海道コンサドーレ旭川U-15	1回戦敗退		

北海道中学校体育大会北海道中学校サッカー大会					全国中学校体育大会全国中学校サッカー大会			
北海道予選					全国大会			
年	回	開催地	結果		回/日程/会場	参加チーム/最終結果 優勝チーム 予選リーグ等結果		
2022	61	浜中	優勝	札幌大谷中学校	準優勝	室蘭市立桜蘭中学校	53 2022年8月山形県 浜松開誠館	札幌大谷中学校 2回戦敗退

日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会							
全国大会							
年	回	開催日程	結果		参加チーム/最終結果		
2022	37	帯広	優勝	セレッソ大阪	コンサドーレ旭川	コンサドーレ札幌	予選リーグ敗退

北海道カプスリーグU-15							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	16	札幌・函館他	10	[1部] 北海道コンサドーレ札幌U-15	北海道コンサドーレ旭川U-15	札幌ジュニアFC	札幌大谷中学校
			12	[2部] 幕別礼内FC	札幌大谷中学校	クラブフィールズU-15	

高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ ブロックカプスリーグ							
年	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位		
2022	札幌	10 1部	北海道コンサドーレ2nd	アンフィニMAKI.FC.2nd	FC DENOVA 2nd		
		8 2部A	FCフォルテU-15	札幌ジュニアFC 2nd	手稲東中		
	道央	8 2部B	HKD FOOTBALL CLUB U-15	ベアフット北海道U-15	アプリーレ札幌2nd		
		10 1部	Regaris小樽	サンクFC	泊FC		
	道南	6 2部	小樽望洋台・青園・銭函中	長沼中学校	滝川ジュニア		
		8	A VENDA FC	ASC 2nd	桜蘭中		
	道東	8	SC釧路U-15	音更町立下音更中	音更町立緑南中		
	道北	8	緑が丘中学校	北海道コンサドーレ旭川(2nd)	六合中学校		

北海道カプスリーグU-13							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022	14	札幌・函館他	1部	10 北海道コンサドーレ札幌 U-15	SSSジュニアユース	札幌ジュニアFC	
			2部	8 DOHTO Jrユース	札幌大谷中学校	クラブフィールズ	
			3部	13 HKD FOOTBALL CLUB	Rugart FC	バーモス恵庭フットボールクラブ	

北海道ブロックカプスリーグU-13							
年	回	ブロック	チーム数	優勝	準優勝	3位	
2022		道南	8	A VENDA FC	ASC 2nd	ELSOLE	
		道東	8	音更町立緑南中	帯広フィットボールクラブ	SC釧路U-15	

第4種(U-12)

全日本少年サッカー大会							
北海道予選				全国大会			
年	回	開催地	チーム数	結果		日程/会場	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2022	46	空知	16	優勝	北海道コンサドーレ札幌U-12	2022年12月 白波スタジアム他	北海道コンサドーレ札幌U-12 予選リーグ敗退 1次RL2位(1勝2敗)
				準優勝	DOHTO Jr U-12A		
				3位	くりやまフットボールクラブ SSS札幌サッカースクール		

全日本少年サッカー大会ブロック予選							
年	ブロック	結果					
2022	札幌	北海道コンサドーレ札幌U-12	札幌ジュニアFC	SSS札幌サッカースクール	ベアフット北海道U-12レッド		
	道央	DOHTO Jr A	滝川明苑				
	道南	北海道コンサドーレ室蘭U-12	AVEVDA FC U-12	Arearea FC U-12			
	道東	関西つつじが丘Jr FC	根室北斗FC	プログレッソ十勝FC U-12			
	道北	北海道コンサドーレ東川U-12	VITA FC U-12.A	西御料地FC			

フジパングルーブPresentsロバパンCUP全道(U-12)サッカー少年団大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位		
2022	54	北見	SSS札幌サッカースクール	DOHTO Jr U-12	上江別JrFC	根室北斗FC	

トラック協会杯全道少年団(U-11)サッカー大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位		
2022	34	札幌	DOHTO Jr U-12	北海道コンサドーレ室蘭U-12	AVENDA FC U-12	札南WEED	

全道少年(U-12)8人制サッカー大会					JA全農杯びりびっく小学生8人制サッカー大会		
北海道予選					全国大会		
年	回	開催地	優勝	結果	日程/会場	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果	
2022	19	苫小牧	SSS札幌サッカースクール		日産スタ	鹿島アントラーズ	SSS札幌サッカースクール 予選敗退

岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北北海道大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝			
2022	19	小樽	上江別Jr.FC	DOHTO Jr U-12			

全道少年U-10サッカー北北海道大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝			
2022	19	帯広	VITA FC U-12	ピアンコロネ旭川			

キャンノン ガールズ・エイトJFA北海道ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会							
年	回	開催地	チーム数	※交流大会として実施			
2022	20	新篠津	12				

熊谷・高瀬杯ガールズ(U-12)サッカー大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝			
2022	10	新篠津	空知FCガールズパープル	FCガールズ北空知			

女子

道新旗 北海道女子サッカーリーグ					皇后杯 JFA全日本女子サッカー選手権大会			
北海道予選					全国大会			
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場	北海道代表チーム 最終結果		
2022	17	札幌	6	優勝	札幌大学女子サッカー部ヴィスタ	44 22年11月-1月 ヨドコウスタジアム他 日テレ・ベレーザ	ノルディア北海道 1回戦敗退	
				準優勝	北海道リラ・コンサドーレ		札幌大学女子サッカー部ヴィスタ 1回戦敗退	
				3位	北海道文教大学附属高等学校女子サッカー部			

北海道女子サッカーリーグ参入決定戦 兼 ブロック代表サッカー大会						
年	回	開催地	優勝	第2位		
2022		札幌	北照高校	帯広大谷高校		
全道O-30女子サッカー大会				JFA全日本O-30女子サッカー大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2022	34	札幌	2	優勝 室蘭アイスパース 準優勝 EGZAS FC	31 中止	
全日本大学女子サッカー選手権大会						
全国大会						
年	回	開催日程	会場	北海道代表チーム	最終結果	優勝チーム
2022	31	22年12月-23年1月	味の素フィールド他	札幌大学	1回戦敗退	東洋大学
北海道高等学校女子サッカー選手権大会				全日本高等学校女子サッカー選手権大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場	北海道代表チーム
2022	31	室蘭	10	優勝 北海道大谷室蘭高等学校 準優勝 旭川実業高等学校 3位 北海道文教大学附属高等学校 帯広大谷高等学校	31 2023年1月 ノエビアスタジアム他 藤枝順心高等学校	北海道大谷室蘭高等学校 1回戦敗退 旭川実業高等学校 1回戦敗退
北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技				全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会女子		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	優勝	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果	
2022		室蘭	北海道文教大学附属高等学校	22年7月 徳島 大商学園	北海道文教大学附属高等学校 1回戦敗退	
北海道女子ユース(U-18)サッカー選手権大会				JFA全日本U-18女子サッカー選手権大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2022	25	浜厚真	4	優勝 クラブフィールズ・リンダ 準優勝 室蘭アイスパース 3位 ASC北海道レディース 小樽Corsario	26 2023年1月 J-GREEN堺 日テレ・東京ヴェルディ メニーナ	クラブフィールズ・リンダ 1回戦敗退
北海道U-15女子サッカー選手権大会				JFA全日本U-15女子サッカー選手権大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果
2022	30	夕張	8	優勝 北海道リラ・コンサドーレ 準優勝 岩見沢ルファヴェニールU-15 3位 旭川女子アチーボU-15 クラブフィールズ・リンダ	27 2022年12月 味の素フィールド他 JFAアカデミー福島	北海道リラ・コンサドーレ 2回戦敗退 岩見沢ルファヴェニールU-15 1回戦敗退
北海道女子8人制リーグフェスティバル 北海道レディースエイトリーグ						
年	開催地	優勝	準優勝	第3位		
2022	札幌	きびちゃんZoo	北海道旭川南高等学校A	札幌北斗高校女子サッカー部		
北海道女子8人制サッカーフェスティバル(U-13)						
年	回	開催地				
2022	4	札幌	※フェスティバルとして実施			
全国健康福祉祭<ねんりんピック>サッカー交流大会(60歳以上)						
全国大会						
年	回	会場	北海道代表			
2022	33	神奈川	グループ第3位			
全道シニア70サッカー大会(70歳以上)				O-70サッカーオープン大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2022	11	札幌	5	優勝 苫小牧シニア70サッカークラブ 準優勝 北海道シニア70 3位 函館四十雀70 札幌サッカークラブ七十雀	16 ニンジニアスタジアム アスレチックちば	函館四十雀70 予選リーグ敗退 (0勝1引2敗)
全道シニア60サッカー大会兼全国シニア(60歳以上)サッカー大会				全国シニア(60歳以上)サッカー大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2022	30	釧路	16	優勝 とかち六十雀サッカークラブ 準優勝 室蘭シニア60サッカークラブ 3位 旭川シニア60FC 羊ヶ丘オールドキッカーズ2002	22 ニンジニアスタジアム 愛知セレクト60	室蘭シニア60サッカークラブ 予選リーグ敗退 (1勝0引2敗)
全道シニア50サッカー大会兼全国シニア(50歳以上)サッカー大会				全国シニア(50歳以上)サッカー大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2022	38	道北	16	優勝 北海道オッサンドーレ札幌50 準優勝 札幌50CERI鳥 3位 サリーレ札幌FC50 Docon Jack 50	21 2022年5月 千葉県 T・ドリームス50	札幌50CERI鳥 1次R敗退 グループC4位(0勝1敗2分)
全道シニア40サッカー大会兼全国シニア(40歳以上)サッカー大会北海道予選				全国シニア(40歳以上)サッカー大会		
北海道予選				全国大会		
年	回	開催地	チーム数	結果	回/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選結果
2022	47	苫小牧	16	優勝 北海道オッサンドーレ札幌40 準優勝 FCK ZIEX 3位 アンフィニ VANKEI.FC40 室蘭シニア40サッカークラブ	10 2022年11月 藤枝サッカー場 藤枝フットボールクラブ	北海道オッサンドーレ札幌40 1次R敗退 グループD3位(1勝2敗) FCK ZIEX 1次R敗退 グループC4位(0勝1敗2分)

シニア

日本スポーツマスターズ(35歳以上)							
全国大会							
年	開催地	優勝	準優勝	北海道代表チーム 最終結果/予選結果			
2022	岩手県	エリース東京O-35	盛岡ゼブラ	ヒヤシンスミドル、YUTO.SC 1次R敗退			
北海道シニアサッカー大会							
年	回	開催地	カテゴリー	チーム数	優勝	準優勝	3位
2022	22	空知	70グループ	3	フィールド北海道70	札幌サッカークラブ七十雀	北海道シニア70
			60グループ	15 A	函館四十雀60	札幌四十雀サッカークラブ60FC	岩見沢シニア60サッカークラブ
			50グループ	26 A	Docon Jack 50	真栄OFC50	千歳Fifties sparrow
			40グループ	13 A	旭川四十雀サッカークラブ	CERI	真栄OFC40
北海道シニア8(エイト)サッカーツアーオープン大会							
年	回	開催地					
2022	7	中止					
全道シニア8人制サッカー大会(全道シニア8人制サッカーオープン大会)							
年	回	開催地	第1位		第2位	第3位	
2022	18	札幌	60グループ A	14	旭川シニア60FC	札幌シニアサッカークラブ	
			50グループ A	13	Docon Jack 50	札幌50CERI鳥 Green	
			40グループ A	18	岩見沢シニア40SC	札幌サッカークラブ	
					千歳Fifties sparrow	札幌REVESHUA SFC	

フットサル

全日本フットサル選手権大会 北海道地域大会							全日本フットサル選手権大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位	回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果		
2022	28	釧路	Sorpresa	LEVO函館	Sefilva北海道	arusa	22年3月駒沢フウガドールすみだ	2回戦敗退	エスポラーダ		
北海道女子フットサル選手権大会							全日本女子フットサル選手権大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	チーム数	結果			回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果	
2022	21	札幌	8	優勝	エスポラーダ北海道イルネーヴェ			18	2022年3月	エスポラーダ北海道イルネーヴェ	1回戦敗退
				準優勝	釧路リベラルティ						
				3位	S.L Dsapeed						
					札幌BONITA FC						
全道大学フットサル大会兼全日本大学フットサル大会北海道代表決定戦							全日本大学フットサル大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	優勝				回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果	
2022	17	岩見沢	北海道大学	Esperanza			18	22年8月岸和田大阪成蹊大	北海道大学エスペランサ	準優勝	
全道(U-18)フットサル大会兼全日本ユース北海道予選							全日本ユース(U-18)フットサル大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	優勝	準優勝			回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果	
2022	34	苫小牧	旭実FC	北照			10			2023/8/3~6	
全道(U-15)フットサル大会兼全日本ユース北海道予選							全日本ユース(U-15)フットサル大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	結果			回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果		
2022	34	札幌	優勝	北海道コンサドーレ釧路U-15			28	2023年1月	北海道コンサドーレ釧路U-15	ベスト4進出	
			準優勝	FCフォルテU-15 1st							
			第3位	札幌大谷中学校						FCフォルテU-15	
										ベスト4進出	
										札幌大谷中学校	
										1次ラウンド敗退	
全道女子(U-15)フットサル大会兼全日本女子ユース北海道予選							全日本女子ユース(U-15)フットサル大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	結果			回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果		
2022	14	釧路	優勝	十勝FSリトルガールズU-15			12	2023年1月	十勝FSリトルガールズU-15	1次ラウンド敗退 グループC3位(2敗)	
			準優勝	室蘭アイスバースU-15							
										朝日インテック	
パーモントカップ全日本少年フットサル大会北海道予選							パーモントカップ全日本少年フットサル大会				
北海道予選							全国大会				
年	回	開催地	優勝	準優勝			回/日程/会場	優勝チーム	北海道代表チーム	最終結果/予選リーグ結果	
2022	32	札幌	AVENDA FC U-12	FC DENOVA 札幌			32	22年8月駒沢プリンカールFC	AVENDA FC U-12	FC DENOVA 札幌	
										1次ラウンド敗退	
全道フットサル選手権大会 一般											
年	開催地	優勝	準優勝								
2022	札幌	F.S十勝	Safilva 北海道								
全道フットサル選手権大会 女子											
年	開催地	優勝	準優勝	第3位							
2022	十勝	室蘭アイスバース	S.L DasPeed	Colmillo							
全道シニアフットサル選手権大会											
年	回	開催地									
2022		中止									
全道フットサル選手権大会 U-14											
年	開催地	優勝	準優勝	第3位							
2022	倶知安	札幌大谷中学校	プレイフル函館ジュニアユース	SSSジュニアユース							

全道フットサル選手権大会 U-12							
年	開催地	優勝	準優勝	第3位			
2022	札幌	根室北斗FC	月寒サッカースポーツ少年団	AVENDA FCU-12			
全道少女フットサル大会							
年	回	開催地	優勝	準優勝	第3位		
2022	33	千歳	空知FCガールズ	リカンシ	FC網走mebinaU-12 旭川女子トレセンU-12		
パーメントカップ全日本少年フットサル大会北海道予選ブロック大会							
年	ブロック						
2022	札幌	フォーザサッカークラブ	札幌藻南FC	FC DENOVA U-12	SSS札幌サッカースクール		
	道央	DOHTO A	ヴィエントFマリノ	岩見沢日の出			
	道南	北海道コンサドーレ室蘭U-12	Arearea FC U-12	AVENDA FC U-12			
	道東	関西つつじが丘	芽室サッカー少年団A	北海道コンサドーレ釧路U-12			
	道北	トロンコ旭川FC	Faminas A	鷹栖高台ルフォール			
北海道フットサルリーグ			F地域チャンピオンズリーグ				
北海道予選			全国大会				
年	回	開催地	チーム数	優勝	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果	
2022	23	札幌他	11	Sorpresa	23 O-PA	Sorpresa 1次ラウンド敗退	
北海道フットサルリーグ ブロックリーグ決勝大会(北海道フットサル地区リーグ決勝大会)							
年	回	開催地	チーム数	優勝			
2022	6	札幌	4	エスポラーダ北海道 Second			
SuperSports XEBIO 北海道フットサルリーグ ブロックリーグ							
年	回	ブロック	チーム数				
2022	6	札幌	8	FIVE A SIDE	エスポラーダ北海道Second	arusa	
		道北	7	at second	dispositivo de fut	el. Bien futsal club	
		道南	7	Bon's Futsal	REUNION	graduale函館	
		道東	4	Rivalis	FORTVNA 釧路	Armada	
北海道女子フットサルリーグ(1部)			FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ				
北海道予選			全国大会				
年	回	開催地	チーム数	優勝	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果	
2022	12	札幌他	8	S.L DasPeed Ladies	10 DELIZIA 磐田レディース	札幌BONITA FC Cグループ3位	
北海道女子フットサルリーグ(2部)							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝		
2022	12	札幌他	6	エスポラーダ北海道イルネーヴェSecond	CORALITA		
全道自治体職員フットサル大会							
年	回	ブロック					
2022	16	南	開催なし				
		北	開催なし				
北海道フットサルリーグカップ							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	第3位	
2022	11	札幌他	12	LEVO函館	Sorpresa	Safilva北海道 北海道大学Esperanza	
LUXPERIOR CUP 第18回北海道大学フットサルリーグ							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝		
2022	18	札幌他	5	Hermosa Cadera	北海道大学 Esperanza		
U-10フットサルリーグ							
年	回	開催地	優勝		準優勝		
2022	18	札幌	FCカラージョ平岡公園SS少年団		篠路FCスポーツ少年団		
U-8フットサルリーグ							
年	回	開催地	優勝		準優勝		
2022	13	札幌	篠路FCスポーツ少年団		SS LAVORO PIVO		
全道(U-15)フットサル大会兼全日本ユース北海道代表決定戦 ブロック予選							
年	ブロック						
2022	札幌	札幌大谷中学校	FCフォルテU-15		SSSジュニアユース		
	道央	DOHTOジュニアユース	Regaris小樽U-15		バーモス恵庭FC		
	道南	Arearea FC U-15	七飯・知内・松前中学校		北湘南サッカースクール		
	道東	北海道コンサドーレ釧路U-15	SC釧路U-15		遠軽町立遠軽中学校 帯北FCU-15		
	道北	TRAUM SV 旭川	旭川市立緑が丘中学校				
ビーチサッカー大会北海道予選							
全国ビーチサッカー大会							
年	回	開催地	チーム数	結果	回/日程/会場 優勝チーム	北海道代表チーム 最終結果/予選リーグ結果	
2022	17	イタンキ	4	優勝 大鎮キムラ建設 By II 準優勝 MIRAGE 3位 羊ヶ丘病院	17 2022年9月 明石市 東京ウェルディ	大鎮キムラ建設 By II 1回戦敗退	
北海道チャレンジドサッカー大会(11人制)							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	第3位	
2022	21	栗山	3	新篠津高等養護学校	豊明・みなみの杜	あいの里高等支援学校	
北海道チャレンジドサッカー大会(8人制)							
年	回	開催地					
2022	21	中止					
北海道高等養護学校サッカー大会							
年	回	開催地	チーム数	優勝	準優勝	第3位	第4位
2022	12	新篠津	4	みなみの杜・豊明	新篠津高等養護学校	あいの里高等支援学校	今金高等養護学校
北海道チャレンジドフットサル大会							
年	回	開催地	ジュニアクラス	U-18クラス	社会人クラス		
2022	22	札幌市	石山レインボー	札幌あいの里高等支援学校	札幌NFCブル		

2022年度日本代表各カテゴリー選手/役員(北海道関連)

2023年6月現在

なでしこジャパン(日本女子代表)候補トレーニングキャンプ	
4/4~4/10 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
高瀬 愛実(INAC神戸レオネッサ)	三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
白木 星(マイナビ仙台レディース)	
U-19日本代表候補トレーニングキャンプ	
4/24~4/27 @高円宮記念JFA夢フィールド	
西野 奨太(北海道コンサドーレ札幌)	松田 隼風(水戸ホーリーホック)
U-21日本代表候補トレーニングキャンプ	
5/9~5/11 @千葉県	
松木 玖生(FC東京)	
U-20日本女子代表候補トレーニングキャンプ	
5/23~5/26 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
第48回Maurice Revello Tournament U-19日本代表	
5/29~6/12 @フランス	
松田 隼風(水戸ホーリーホック)	
AFC U23アジアカップウズベキスタン2022 U-21日本代表	
6/1~6/19 @ウズベキスタン	
松木 玖生(FC東京)	
U-20日本女子代表候補トレーニングキャンプ	
6/6~6/14 @Jヴィレッジ	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
U-19フットサル日本代表 クロアチア遠征	
6/18~6/28 @クロアチア	
コーチ:高橋 健介(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
U-18日本代表候補トレーニングキャンプ	
6/18~6/22 @高円宮記念JFA夢フィールド	
西野 奨太(北海道コンサドーレ札幌U-18)	
なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合	
6/24セルビア女子代表 @セルビア 6/27フィンランド女子代表 @フィンランド	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ)	
U-20日本女子代表候補トレーニングキャンプ	
7/7~7/11 @高円宮記念JFA夢フィールド	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
ドクター:神谷 智昭(HKFA医学委員会委員長)	
なでしこジャパン(日本女子代表) EAFF E-1 サッカー選手権 2022 決勝大会	
7/19~7/26 @茨城県	
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)	
三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)	

U-15日本代表候補 ROOKIE CUP in J-VILLAGE
8/1～8/4 @Jヴィレッジ
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会JFAコーチ) 川崎 幹大(北海道コンサドーレ札幌U-15)
U-15日本女子代表【HiFA 平和祈念 2022 Balcom BMW CUP 広島女子サッカーフェスタ】
8/8～8/11 @広島県
菊地 花奈(北海道コンサドーレ旭川U-15)
U-19日本代表候補 トレーニングキャンプ
8/15～8/17 @千葉県
松田 隼風(水戸ホーリーホック)
フットサル日本女子代表候補 トレーニングキャンプ
8/18～8/20 @高円宮記念JFA夢フィールド
GKコーチ:三浦 拓(鶴岡学園 北海道文教大学附属高等学校)
U-19日本代表 AFC U20アジアカップウズベキスタン2023予選
9/10～9/18 @ラオス
松田 隼風(水戸ホーリーホック)
なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合
10/6 ナイジェリア女子代表 @兵庫県 10/9ニュージーランド女子代表戦@長野県
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ) 三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合
11/11イングランド女子代表 @スペイン 11/15スペイン女子代表 @スペイン
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ) 三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
U-19日本代表スペイン遠征
11/13～11/23 @スペイン
松田 隼風(水戸ホーリーホック) 松木 玖生(FC東京)
フットサル日本女子代表 スペイン遠征
11/13～11/25 @スペイン
星山 彩香(エスポラーダ北海道イルネーヴェ)
U-15日本代表スペイン遠征
11/18～11/29 @スペイン
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会JFAコーチ) 川崎 幹大(北海道コンサドーレ札幌U-15)
U-23フットサル日本代表候補 トレーニングキャンプ
12/26～12/29 @高円宮記念JFA夢フィールド
コーチ:高橋 健介(日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ) 戸田 貴英(エスポラーダ北海道)
U-23フットサル日本代表 フランス遠征
1/28～2/3 @フランス
コーチ:高橋 健介(日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
なでしこジャパン(日本女子代表)SheBelieves Cup
2/12～2/24 @アメリカ
フィジカルコーチ:大塚 慶輔(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)
熊谷 紗希(FCバイエルン・ミュンヘン/ドイツ) 三宅 史織(INAC神戸レオネッサ)
U-18日本代表候補 トレーニングキャンプ
2/27～3/3 @高円宮記念JFA夢フィールド
テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗(日本サッカー協会テクニカルハウス)

U-20日本代表 AFC U20アジアカップウズベキスタン2023	
3/1～3/18 @ウズベキスタン	
松田 隼風(水戸ホーリーホック)	松木 玖生(FC東京)
U-15日本代表候補トレーニングキャンプ	
3/6～3/10 @J-GREEN堺	
コーチ:鈴木 貴浩(日本サッカー協会JFAコーチ)	
ドクター:神谷 智昭(HKFA医学委員会委員長)	吉田 遥翔(スプレッドイーグルFC函館)
U-22日本代表メンバー 国際親善試合	
3/24 U-22ドイツ代表 @ドイツ 3/27 U-22ベルギー代表 @スペイン	
テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗(日本サッカー協会テクニカルハウス)	



公益財団法人北海道サッカー協会

☎062-0912

北海道札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

発行人 越山 賢一

発行日 2023年6月30日

印刷 社会福祉法人共友会 札幌福祉印刷